



## No.200

平成26年3月14日発行

### 目次

|   | ページ   |
|---|-------|
| 1. 卒業生・修了生に贈る言葉                                   |       |
| 校長 .....  | 2     |
| 教育後援会会長・進和会会長 .....                               | 3     |
| 2. 卒業生クラス紹介 .....                                 | 4~8   |
| 3. 修了生クラス紹介 .....                                 | 9~10  |
| 4. 各学科卒業研究・指導教員紹介 ..                              | 11~13 |
| 5. 専攻科特別研究テーマ・指導教員紹介 ..                           | 13    |
| 6. 退職にあたって .....                                  | 14~17 |
| 7. 学生の将来と進路 .....                                 | 17~18 |
| 8. 活躍する仲間   |       |
| ふくいソフトウェアコンペティション2013 ..                          | 18    |
| 歯みがきロボットコンテスト .....                               | 19    |
| 福井発ビジネスプランコンテスト2013 ..                            | 19    |
| 平成25年度優秀学生賞 .....                                 | 20    |
| 平成25年度資格取得者 .....                                 | 21    |
| 9. 見学旅行について .....                                 | 22~24 |
| 10. 校外研修について .....                                | 24~25 |
| 11. 遠足について .....                                  | 26    |
| 12. 「JOINTフォーラム2013」を開催 .....                     | 27    |
| 13. 第19回マグネットコンテスト表彰式 .....                       | 27    |
| 14. 第5回福井高専クラシックコンサート .....                       | 28    |
| 15. 中学生の皆さんへ                                      |       |
| 中学校だより 鯖江市 中央中学校 .....                            | 29    |
| 平成26年度入学者選抜について .....                             | 29    |
| 平成26年度入学者選抜実施状況 .....                             | 29    |
| 16. 学園通信  |       |
| 平成25年度留学生との懇親会報告 .....                            | 30    |
| ISTS2013に参加して .....                               | 30    |
| 平成25年度福井工業高等専門学校卓越した学生<br>の表彰及び校長特別賞・校長賞受賞者 ..... | 31    |
| 平成26年度教育後援会総会 .....                               | 31    |

## 卒業生・修了生に贈る言葉



## 卒業・修了おめでとう

校長 松田 理

卒業ならびに修了を迎える本科176名、専攻科23名の皆さん、おめでとうございます。本校教職員、在校生を代表して心からお祝い申し上げます。

本校を巣立つ皆さんは早いうちから技術者の道を選択し、授業を通して幅広い教養とそれぞれの専門分野での知識・技術など、創造的・実践的技術者としての備えるべき基本を学び、複眼的視野も身につけたことと思います。また、勉学のみならず、学校行事や課外活動ならびに地域との連携活動にも励み、貴重な体験を通して心と体の鍛錬、先輩・後輩等との友情を築き、人間性や協調性も培って来たことと思います。特に、体育祭や高専祭、また高専体育大会、ロボコン等の各種コンテスト、更には出前授業、公開講座等、様々な場面で多くの学生が活躍してくれたことは、誠に喜ばしい限りであります。一方で、友達との意見の衝突や苦い経験等により、失敗や挫折も味わったことでしょう。今となってはこれら全てが、皆さんを大きく成長させたと思えますし、その貴重な財産をこれからの仕事や研究の原動力とし、それぞれの方面で活躍していただきたいと願っています。

3年前の東日本大震災は、科学技術の信頼性と共に人間と自然との関係のあり方について多くの問題を投げかけています。また、我国は企業を取り巻く競争環境の激化とグローバル化や情報化の急激な進展など、対応すべき多くの課題に直面しています。福井高専で身につけた知識で何ができるのか、またどう活用するのか、時々場面を問いかけながら、持てる力を十分に発揮し技術者として役立ってほしいと思います。

これからの日本の成長を支える鍵は若者であります。いかに皆さん若者が、イノベーションを生み出すかに国の浮沈がかかっていると言っても過言ではありません。ノーベル賞受賞者の山中伸弥先生は、「イノベーションを生み出すには、予想外の結果を面白いと思うこと、成功するかどうか分からないリスクの高い研究に挑戦することが必要である」と言っています。また、小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトマネージャー川口淳一郎先生も同様に、「挑戦的なことをやらなければ、実用も生まれない」と言っています。挑戦は、若者の特権だと思います。大きな壁にぶち当たり、それをブレークスルーしてください。本校で学んだ皆さんには、行動力、集中力、そして適応力があり、必ず道は開けると信じています。

また、皆さんには社会で良好な人間関係を構築し、悔いのない人生を送っていただきたいと願っています。21世紀の工業技術は、自然環境や社会環境と調和し、人間性と倫理に裏打ちされたものでなければなりません。兎角、工業技術が発達し、世の中が便利になればなるほど人間性が失われることも多いのです。従って、皆さんが技術の担い手であるからこそ、技術者である前に高い倫理観を持つ立派な人間になってほしいのです。そして、社会を構成する以上、その人の知的かつ精神的成長が重要であります。本校の教育方針のもとで学び、個々のアイデンティティーを確立された皆さんは、言うなれば福井高専の社会に対するメッセージでもあります。どうかこれからの多様性の時代、様々な場面でキーパーソンとして活躍されることを祈念しています。

## 卒業生・修了生に贈る言葉



## 悔いのない人生を

教育後援会会長

井上正士

卒業生の皆様、卒業おめでとうございます。  
皆さんは、これから新しい道を踏み出していきます。

社会人になる人、進学しさらなる学力を身につけ向上する人、人それぞれの道を歩んでいきますが高専での過ごした数年間は、これからの人生の中で大事なことを学んだことでしょう。

入学してから、これまで多くのことを学び、クラブ活動に励み、これからの人生の難局を自らの力で切り開く力を養ってきたと思います。

その中で、自分一人では何も出来ないことがあり壁にぶつかったと思います。この壁を仲間・先生・家族の助けがあればこそ、壁を乗り越えたと思います。

社会に出たとき、自分一人の判断・決断を多く強いられると思います。失敗を恐れるあまり無難な方へ行きがちです。皆さんは失敗の中から何かを掴んでもらいたいと思います。

また、聞くのは一時の恥、と言う言葉があります。大いに先輩・上司に聞いてください。黙っていても教えてはくれません。常に向上心を忘れないで、目標を持って進んでください。自分の好きな道を突き進んで、悔いのない人生にしてください。

最後に、新しい生活が君を待っています。健闘を祈ります。自分を大切に何でも全力で前向きに歩こう。

皆さんのご活躍を期待しております。



## 「自力」と「他力」

進和会会長

前川忠博

本科及び専攻科の皆様、ご卒業おめでとうございます。

福井高専同窓会「進和会」を代表しまして、皆様のご卒業をお慶び申し上げますとともに、これからの活躍をお祈り申し上げます。

皆様のご卒業を一番嬉しく思っているのは、たぶんご両親であろうと思います。今まで子供にお金がかかっていたものが、これからは逆になるのですから、これほど楽になることはありません。しかしながら、いつまでも心配なのはやはり子供なのです。まずは、ご両親への感謝の気持ちを大事にして、社会人として立派な旅立ちをしてください。

「自力」と「他力」という言葉があります。「他力」というとあまり良いイメージを持たれていない方もいるかも知れません。それはたぶん「人頼み」や「人任せ」という意味でとらえているからでしょう。ところが、仏教的な教えでは「自力」つまり自分一人で何とかしよう、自分だけでもうまくできると慢心するのではなく、自分が努力することはもちろん、周りの人とのご縁（学生時代なら両親、先生、友人、知人）他にも見えない大きな力、守られる、助けられるのが「他力」です。何事も自分の力だけではできない、誰しも、自分一人で生きてきたのではない、両親や先生、友人達の励ましや思いを受け取って、助けられてここまでやってこられたのです。自分で出来る事はがんばれば良い、でも周りに助けていただいたからできたと思う方が良い、「ありがとう」「おかげさまで」と素直に言えれば良い、そしていつも「他力」に感謝し、仕事をさせていただくという気持ちでこれからの頑張りにいただきたいと思います。

最後になりましたが、住所等の変更があった時には必ず連絡をお願いいたします。

## 【連絡先】

〒916-0064

福井県鯖江市下司町 福井高専進和会事務局

TEL 0778-62-1111 FAX 0778-62-2597

## 卒業生クラス紹介

## 機械工学科



## 寒かった年の春

機械工学科5年担任 安丸 尚 樹

約3年前、15年振りにクラス担任を担当してから早くも卒業式を迎えようとしている。やりがいのある業務であるが、久々の担任はとまどうことが多く、逆に学生の若い力に支えられたと感じている。3年の工場見学旅行では、長崎の軍艦島など私自身楽しませてもらった。4年の体育祭では、応援のマナー化した振り付けの刷新やデコレの創意工夫で、全部門優勝を成し遂げた。インターンシップや就職進学については、主体性のある学生が多く、早い段階で進路を決めることができた。5年後期は交流会のバーベキューで盛り上がり、卒研の切が近づくとつれ引き締まってきた。

高専制度の良いところは、10代後半の多感な時期を学生として過ごし、最終学年で成人式を迎え、それぞれの進路に巣立つことです。次のステップへ歩み始める君達に、中学校の恩師から卒業時に頂いた額に書かれた言葉を贈ります。

「寒かった年の春には樹木がよく育つ

人は逆境に鍛えられて、はじめて生まれる」

## ただ1つ、確かな事

5M 山本 洵

原稿依頼を受けたが一向に進まない。卒業って他人事な気がして。今までの生活が続く気がして。どこか掴みどころのないふわふわとした感覚だ。

平成21年度入学式から始まった高専生活一。最初に喋ったのはあいつだっけ。先生に怒られたりもしたな。授業難しかったな。喧嘩もしたわ。留学生来たよな。修学旅行、あれは最高だった。テストも頑張ったな。体育祭優勝感動したな。進路で悩んだこともあったか。卒研大変だったよね。

—5年間は長いようで、短いようで。この5年間で何を得たのか分からない。でも1つだけ確かな事がある。「福井高専に来たのは間違いではなかった」という事だ。素晴らしい仲間達と数え切れない程の経験ができたこと。それはここ福井高専に来たからこそ得られた、何ものにも替え難い最高の宝物だろう。

これからもそんな最高の宝物を胸に新たな場所でも頑張ろう。そしていろんな事に挑み続けよう。いつの日か互いに成長した姿で再会できるその日まで。 — P.S. いつもはあまり言えないのでこの場を借りて…みんな！いっぱいありがとう!!

## 卒業生クラス紹介

## 電気電子工学科



## 新しいスタート

電気電子工学科5年担任 米田 知晃

5年生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの担任として過ごした3年間は、私にとって本当に良い経験が出来た時間であり、楽しくそして自分自身が成長できた時間でした。このような時間を与えてくれた皆さんに感謝いたします。

さて、就職・進学など新たなスタートがすぐに始まりますが、良いスタートを切るための準備は大丈夫でしょうか。環境が大きく変わる人が多いと思いますが、このような環境の変化は自分を成長させる大きなチャンスです。

皆さんは年齢的にはすでに立派な大人です。今後ますます大人としての責任が問われる場面が増え、周りからの要求が厳しくなるでしょう。そのため、常に成長し続けることが求められます。しかし、そのような環境で結果を出したときの喜びもまた大きな喜びとなります。是非、この機会を通してさらに成長するために、新しい環境で良いスタートを切り、皆さんの人生が喜び多き人生となるよう願っています。

## 5年間の重み

5E 前田 剛

僕が福井高専に入学して、はや5年の月日が経とうとしている。福井高専で過ごした5年間を振り返ると、懐かしい記憶が蘇ってくる。緊張して迎えた1年次の新入生歓迎会、仲間と騒いだ研修旅行、目標に向かって努力した部活動、言い出したらきりがなほどの思い出をこの5年間で作ることができた。今、僕は沢山の思い出を胸に新しい環境へと歩みだそうとしている。

5年という年月の中で見慣れた風景や学校の校舎、お世話になった先生方、親しい仲間や後輩との別れは本当に寂しいものだ。5年間の高専生活の中で、本当に多くの人達に支えられて、今の自分がある。お世話になった先生方、職員の方々、5年間を共に過ごした友達、様々な繋がりで出会えた後輩達、沢山話した売店のおばちゃん、皆さんとの思い出は僕にとってかけがえのないものです。

これから先、社会人として立派な人間になれるよう、日々努力していきます。5年間本当にありがとうございました。

## 卒業生クラス紹介

## 電子情報工学科



## 卒業する君たちへ

電子情報工学科5年担任 高久 有一

卒業おめでとうございます。旅立ちの時がきましたが、福井高専での5年間は、どうでしたか？あどけなさが残る入学時に思い描いていた理想に、少しは近づけたでしょうか？

思い出してください。新入生オリエンテーション、新入生歓迎会、体育祭、高専祭、部活・同好会、ソウルでの修学旅行、インターンシップ、就職・進学活動、そして授業や実験で学んだこと。多くの知識を吸収し、様々な経験を積んだことで、大きく成長したことを実感できることでしょう。私も君たちのおかげで少しは成長できたと思っています。

まだまだ教えたいたくさんあるのですが、今の君たちなら自分自身で学ぶことができるようになったはず。今後も学び続けてください。小さくまとまらず、さらなる一歩を踏み出してください。壁にぶち当たった時は、気合と根性で乗り越えてください。

またいつか会える日を楽しみに、君たちの成長と幸せを祈っています。ありがとうございました。

Anyone who has never made a mistake has never tried anything new.

Einsteinの言葉より

## 5年間の高専生活

5E1 尚 永 優美香

私は高専のポスターを見たとき、直感的に電子情報工学科に進路を決めました。

入試の最中に後ろの人が私の椅子に2回も物を落とし、緊張と焦りが高まって作文が思ったように書けず、高専生活はできないと思っていましたが、無事合格でした。

入学前は受験勉強が大変でしたが、入学した後のほうがよほど大変でした。特に専門分野の勉強やレポートが全く分からず、友達に助けられながら乗り越えていき、卒業にこぎつけました。

本科では、様々な実験を通して専門分野の知識を深めることや新しい分野にチャレンジすることができ、自分にとってプラスになることがたくさんありました。中でも一番よかったことは、たくさんの人と出会えたことです。先生方や寮の事務の方々、友人などたくさんの人からときには叱ってもらい、励ましてもらい、褒めてもらい成長しました。

来年からは社会人として、高専で学んだことを活かしていきたいです。

## 卒業生クラス紹介

## 物質工学科



## ある担任の最終ホームルーム

物質工学科5年担任 松井 栄 樹

始まりがあれば、終わりがあり、ついにこの時がやってきました。皆さん卒業おめでとう。

私もとりあえず担任からの卒業です。

30才で本校に着任した私も今は40を過ぎ、卒業する皆さんの倍の年齢です。これからの皆さんの10年、20年は私の経験から言えば、人生の方向性を決定づける大切な時間です。

まずは仕事や学業に一生懸命取り組んでください。壁にぶつかったときもあきらめずに取り組めば、専門性を高めることが自分を生かすことに繋がると気付くはずです。

また周りの人を大事にしてください。

つらいことに共感し、些細なことで一緒に喜んでくれる相手がいれば、何とか頑張れると思います。

体と心を大切にしてください。

自信をもち、心身が健全であることが重要です。

これから、世の中の荒波に一人漕ぎ出す君たちを思うと、言わずにはいられないのです。

自分らしさを失わず、幸せな人生を。

## 道しるべ

5C 松浦 和 也

5年前、私はこの福井高専に入学した。右も左も分からなく、路頭に迷う子ヤギであった。しかし、すぐに友達ができ、勉強も理解できるようになり、それなりに楽しかった。2、3年も経つと、マンネリ化した。同じ勉強、同じ環境、同じ友達。高専にいる意味があるのだろうかと考えるときがあった。ここが、分かれ道である。目標を見つけられるか否か。

私は目標を見つけ、「生きねば」と思った。

ここからは、学校が楽しくてしょうがなかった。親しく話ができる先生方。馬鹿みたいにはしゃげる友達。実際馬鹿だったのかもかもしれない。とても優しい先輩方。とても優しい後輩。みんなには感謝しきれないほど、感謝している。高専を卒業している頃は入学した私とはまるっきり変わっているだろう。そう、私はもう路頭に迷う子ヤギではないのだ。しっかり前を向いて、生きていける人間になっていこう。生きねば。

## 卒業生クラス紹介

## 環境都市工学科



## 「人の命を守る」仕事

環境都市工学科5年担任 辻子裕二

卒業おめでとうございます。

苦労した学生、紆余曲折あった学生、密度高く5年を過ごした学生、なんとなく卒業を迎えた学生と様々であろうと思います。ここでは饒として、私からの諸君らへの最後のミッションを伝えます。

諸君ら技術者の多くは仕事の成果を実体として眼中に収め、仕事の達成感を得ることができます。中でも諸君らの大半が今後関係する建設分野では、様々な構造物を構築することで仕事の成果が顕在化します。加えて、それらの成果は唯一無二の“もの”であることが特徴です。そこは人の顔が見え、利用者の癖を許容し、見えない血が通う空間です。無機質であっても単なる箱ではなく、時間軸をもって生きている四次元空間です。

この創造的空間づくりに重要な観点は、利用者を生き生きとさせること。極論を言えば死なせないことです。諸君らはその空間で生きる人々の生活を支える重要なミッションを担っています。今後は「人の命を守る仕事」であることを誇りに思い、それぞれの役割を果たしてください。

## ありがとう、福井高専

5B 蓑輪圭祐

福井高専に来てから、5度目の春を迎えました。今年の冬は雪が異常に少なく、比較的過ごしやすい季節だったことはまだ記憶に新しいことでしょう。

さて、この5年間たくさんの友人・先生方の支えの中で多くのことを学び、楽しかったことも苦しかったことも今となっては良い思い出となり、充実した高専生活を送ることができました。本当にありがとうございました。高専での経験を活かし、大学編入学後も精一杯頑張ります！

ここからは後輩たちへのメッセージです。高専生活の5年間は今後の人生をも左右する大事な時期です。遊んでばかりではいけません。でも勉強ばかりでは心が疲れてしまいます。とにかく、何事にも全力で取り組んでください。今全力を出せない人は、いつまでも全力を出せる時なんて来ません。将来の自分がどうありたいか、夢や目標があれば向上心がうまれます。その向上心をもって、残り的高専生活を楽しんでください！

## 修了生クラス紹介

## 生産システム工学専攻



## 修了生に贈る言葉

生産システム工学専攻主任 亀山 建太郎

4月から、君たちは高専というゆりかごを離れ、進学・就職という次のステップに進んでいく訳ですが、そこで、何かやりたい事がありますか？何か、創りたい物がありますか？

もしあるのならば、どうしたら実現できるか考え、できるだけ早く実行に移してください。急がなければ、それは、あつという間に日常の中に埋もれてしまうでしょう。

しかしその一方で、そのやりたい事が、自分にとって、そして周囲の人達にとって、本当に価値ある事なのかについて考えることを忘れないでください。エンジニアという職業は、人類が、何千年もの時間をかけて磨き上げてきた科学・技術という体系を駆使することにより、会社という狭い枠に囚われる事無く、広く世の中に影響を与える事ができる職業です。そのような影響力のある立場にいる事に、自覚的であってください。そして、そうあり続けるために、勉強することを止めないでください。

あまりのんびりしている暇はなさそうですが、とりあえず、修了おめでとうございます。

## 高専物語

2PS 鷲田 善幸

本科に入学した当初はこの学校に7年間も通うことになるとは微塵も思っていなかった。しかし、学年が上がるにつれて友人が増え、知識が増え、自分が将来やりたいことも増えた。そこで私は、自分の学科だけの知識や技術だけでなく、もっと幅広い知識を学びたいと思い進学を決意した。専攻科は本科から進学してくる学生が多く、ほとんどの人は顔見知りなため、不安なく勉学に励むことができた。専攻科ではグループワークが多く、他学科の学生と交流を深める中で、クラス全体がまとまり、非常に仲の良い学年となっていた。

私が高専で過ごした7年間はあつという間に過ぎてしまったように感じる。この7年間の1秒1秒が私にとってはかけがえのない思い出であり、人生で一度しかない青春の時を、この学校で最高の友人達と過ごすことができ、悔いはないと胸を張って言うことができる。2014年3月17日、私は我が母校、福井高専を卒業する。高専を卒業することはゴールで、スタートでもある。私達の物語はここから始まるのだ。

## 修了生クラス紹介

## 環境システム工学専攻



## 謙遜と感謝をモットーに!

環境システム工学専攻主任 高山勝己

福島事故以来、原子力発電に対する是非がエキサイトしている。最近では東京都知事選でもこの問題が議論された。ところで、以前日本の原発は「トイレなきマンション」と揶揄された。この考え方に対する議論をするつもりはない。しかし、工学に携わる私たち教員も含めて、未来の社会を築くエンジニア（10人に1人の割合が高専生！）として活躍する皆さんは、この問題の本質を見極める必要があると思う。新しい何かを開発する上で、経済や人間生活の利便さを優先するあまり、本当に大切なことを見失ってしまう。近い将来科学技術が発展すれば、どんな問題もいずれ解決するから大丈夫なんていう考えは、まさに人間のおごりのなにもものでもない。科学万能主義の人間には決してなあって欲しくない。

ここ福井高専で学んだことをベースにして、より一層飛躍して行って欲しい。加えて、どんな状況にあっても感謝できる人間になって欲しい。修了おめでとう。

## 7年間の高専生活を終えて

2ES 河原沙紀

7年間私達にたくさんの事を教えてくださった先生方、たくさんの時間を一緒に過ごした友達、7年間学校に通わせてくれた家族、本当にありがとうございました。

学校が嫌で授業が嫌でテストが大嫌いでした。ですが、就職活動を行っている、高専に通っていてよかったなと思う事がたくさんありました。専門知識や技術が備わっている分、有利な部分が沢山ありました。また、先生方がよく相談に乗ってくださり、とても心強かった事を覚えています。

就職活動、テストなど大変な事も沢山ありましたが、その分楽しい思い出も沢山ありました。専攻科は人数が少ない分、他の大学よりもクラスの仲が良く、色々な所に行ったり、とても楽しかったです。

7年間という長い高専生活を経て、楽しかった事、苦しかった事、色々ありましたが、良い友達に出会えた事が何よりも嬉しいです。高専に入って本当に良かったです。

各学科卒業研究・指導教員紹介

平成25年度 学科別卒業研究・指導教員一覧

機械工学科

| 氏名      | 卒研テーマ  | 指導教員  |
|---------|--|-------|
| 池田光希    | 実地試験用水田除草ロボットの開発                               | 亀山建太郎 |
| 稲場優斗    | らせん水車の製作と設置に関する研究                              | 藤田克志  |
| 井上博貴    | 発電機を利用した小型エンジン用動力計の開発                          | 五味伸之  |
| 宇澤亮太    | ゴム援用引張曲げ加工によるスプリングバック抑制                        | 村中貴幸  |
| 奥田豊     | 単独測位GPS受信機を複数個利用した水田用除草ロボットの位置測定精度向上に関する研究     | 亀山建太郎 |
| 笠原一泰    | HPT(高圧ねじり)加工した純鉄の組織と摩耗特性                       | 加藤寛敬  |
| 梶川大輔    | 感温液晶を用いたマランゴニ対流熱伝達の可視化実験                       | 芳賀正和  |
| 片野智仁    | 電動門扉における開閉機構の開発および検証                           | 金田直人  |
| 幸山将大    | ゴム援用引張曲げ加工によるスプリングバック抑制                        | 村中貴幸  |
| 近藤剛志    | マランゴニ対流の数値解析に関する基礎的な取り組み                       | 芳賀正和  |
| 澤崎俊介    | CNC三次元測定機を用いた学生実験の検討                           | 五味伸之  |
| 末本大     | 燃費競技用車体の設計及び製作                                 | 五味伸之  |
| 高橋隆造    | フェムト秒レーザーによる合金工具鋼のナノ加工と評価                      | 安丸尚樹  |
| 竹内優真    | 摩擦表面の組織・硬さに及ぼす材料と摩擦条件の影響                       | 加藤寛敬  |
| 田中大貴    | 油圧機器に用いられるハイブリット型すべり軸受の運動特性                    | 田中嘉津彦 |
| 田中寛也    | 工業用純子タンの焼付き過程評価に関する研究                          | 村中貴幸  |
| 谷川健悟    | かさ高加工糸の評価方法の開発および検証                            | 金田直人  |
| 塚本光輔    | ロボコン用ロボットの3DCG化に関する研究<br>-高専ロボコン2012「ベスト・ベツト」- | 安丸尚樹  |
| 天山雄介    | フェムト秒レーザーによる合金工具鋼のナノ加工と評価                      | 安丸尚樹  |
| 野口大輔    | ナノ構造付与切削工具の切削温度測定                              | 千徳英介  |
| 橋本祥史    | しゅう動部形状による摩擦特性への影響                             | 田中嘉津彦 |
| 初一貴臣    | らせん水車の製作と設置に関する研究                              | 藤田克志  |
| 林和孝     | HPT(高圧ねじり)加工した純鉄の組織と摩耗特性                       | 加藤寛敬  |
| 早水俊貴    | 燃費競技用車体の設計及び製作                                 | 五味伸之  |
| 藤井光太郎   | サッカーロボットの方位センサー精度向上に関する研究                      | 亀山建太郎 |
| 本多和樹    | 斜板式ピストンポンプにおけるロータ挙動の数値計算                       | 田中嘉津彦 |
| 前川恭大    | ナノ構造付与切削工具の切削温度測定                              | 千徳英介  |
| 松田純平    | 深穴ドリル加工時の切削温度測定                                | 千徳英介  |
| 明頓耕平    | 仮燃加工機における加燃工程中の燃りのマイグレーションに関する研究               | 金田直人  |
| 柳谷亮太    | 試作振動測定用FFTアナライザのExcel-VBAによる自動化                | 松尾光恭  |
| 山岸祐太    | しゅう動部形状による摩擦特性への影響                             | 田中嘉津彦 |
| 山村達也    | 温度勾配を設けた自由表面上の分子挙動に関する数値解析                     | 芳賀正和  |
| 山本洵     | キャピティを有する流路システムの製作とPIV計測                       | 藤田克志  |
| 米村建哉    | キャピティを有する流路システムの製作とPIV計測                       | 藤田克志  |
| ザイナルダグス | 試作振動測定用FFTアナライザのExcel-VBAによる自動化                | 松尾光恭  |

電気電子工学科

| 氏名    | 卒研テーマ  | 指導教員          |
|-------|--|---------------|
| 内山直弥  | 多重構造を持つ高温超伝導の新型集合体                                       | 石栗慎一          |
| 宇都宮福郎 | フラッシュ蒸着装置の開発に関する研究                                       | 山本幸男          |
| 大浦彰太  | バスケットボールのシュート動作を目的としたロボットアームの作製                          | 米田知晃          |
| 岡航平   | I-systemをAndroidに適合させるためのアプリケーション構築                      | 大久保茂          |
| 奥田康隆  | MSP430 LaunchPadを用いたライトレースマシンの試作 ~中学生を対象とした公開講座用教材を目指して~ | 佐藤 匡          |
| 奥山大樹  | 直接窒化法による窒化アルミニウムナノ結晶の合成                                  | 川本 昂          |
| 笠島崇史  | 迷路探索を目的とした自立型移動ロボットの作製                                   | 米田知晃          |
| 金森彬孝  | 室温における回転型新超伝導の誘導   | 石栗慎一          |
| 河崎智史  | 経路追従型スライディングモード制御に関する基礎検討                                | 佐藤 匡          |
| 久保田知佳 | 手指重心座標検出による仮想楽器システムの構築                                   | 丸山晃生          |
| 酒井寛斗  | サブアレー化したアンテナの給電系の簡略化                                     | 大久保茂          |
| 杉本翔里  | 真空蒸着法によるAgInS2薄膜の作製に関する研究                                | 山本幸男          |
| 杉本 凌  | 消防団の情報交換システム   | 大久保茂          |
| 平大生   | 真空蒸着法によるCuAlS2薄膜の作製と評価                                   | 山本幸男          |
| 竹内 陸  | PINフォトダイオードを用いた放射線検出器の作製                                 | 米田知晃          |
| 田中憲太郎 | 太陽光発電出力と設置環境の影響に関する研究                                    | 竹本泰敏          |
| 谷口惇浩  | 入力制限のあるシステムの予見制御   | 佐藤 匡          |
| 田保貴大  | 階層型ニューラルネットワークを用いた指文字認識                                  | 丸山晃生          |
| 玉村尚文  | I-systemの電子掲示板の開発  | 大久保茂          |
| 徳永祐也  | ハンドルコントローラを用いた電気自動車の遠隔操作                                 | 丸山晃生          |
| 野坂裕司  | 離散有限個の入力による倒立振り子制御                                       | 佐藤 匡          |
| 薄谷崇志  | kinectを用いた椅子立ち上がり動作の計測                                   | 米田知晃          |
| 橋本和貴  | ArduinoとMATLAB/Simulinkを用いたPID制御実験環境の開発                  | 佐藤 匡          |
| 畑矢弦輝  | 画像処理を用いたカメラ搭載EVの制御                                       | 丸山晃生          |
| 春田 凌  | 色素増感型太陽電池の開発   | 川本 昂          |
| 廣瀬永作  | 多層カーボンナノチューブを用いたペーストレス脳波電                                | 川本 昂          |
| 藤井 峻  | 9軸モーションセンサを用いた運動動作計測                                     | 米田知晃          |
| 藤野克敏  | 階層型ニューラルネットワークを用いた空間手書きひらがな文字の認識                         | 丸山晃生          |
| 前田 剛  | 数値解析と基礎的実験による電力系統学習方法の提案                                 | 竹本泰敏          |
| 前田捺希  | 計測用電子回路の作製   | 前多信博<br>大久保 茂 |
| 宮川 敬  | 電力エネルギー教育用実験実習型教材の提案と開発                                  | 竹本泰敏          |
| 宮下ゆな  | 静電場と高温超伝導コイルを併用した新現象の予言に関する研究                            | 石栗慎一          |
| 宮橋 楓  | RFスパッタ法によるCuInS2/ZnOヘテロ構造の試作に関する研究                       | 山本幸男          |
| 森崎義文  | 音声の基本周波数変化に伴うフォルマント周波数への影響                               | 荒川正和          |
| 山形香央里 | 真空蒸着法によるCuGaS2薄膜の作製に関する研究                                | 山本幸男          |
| 山田慶二  | CIS系薄膜太陽電池のバッファ層の作製に関する研究                                | 山本幸男          |
| 山田 拓  | 劣駆動マニピュレータに関する基礎検討                                       | 佐藤 匡          |
| 山田諒仁  | 音声認識APIを用いたWebサービスの開発                                    | 大久保茂          |
| 山根克明  | 計測用パソコンソフトの作成  | 前多信博<br>大久保 茂 |
| 吉田賢一  | 自己相関関数を用いた楽器音の周波数解析                                      | 荒川正和          |
| 吉本研志郎 | パルス計数による音声データの音高判定                                       | 荒川正和          |

各学科卒業研究・指導教員紹介

電子情報工学科

| 氏名    | 卒研テーマ                            | 指導教員         |
|-------|----------------------------------|--------------|
| 青池啓太  | 視線計測装置の製作                        | 小松貴大         |
| 青木悠一郎 | 多様な変調方式に対応したFM一括変換システムのシミュレーション  | 西仁司          |
| 石田雄登  | マルコフ連鎖を用いた自動作曲機の作成               | 小松貴大         |
| 市橋啓太  | MPS法を用いた粒子シミュレーションにおける表面張力モデルの実現 | 下條雅史         |
| 市橋史也  | フォトリフレクタ方式センサを用いた心拍測定            | 村田知也         |
| 井上智寛  | CUDA/GPUによる水性崩壊シミュレーションの高速化      | 下條雅史         |
| 上木大輔  | トマト自動収穫ロボットのための画像処理の拡張           | 村田知也         |
| 大村匠   | FDTD法を用いた電磁界解析シミュレータの開発          | 川上由紀         |
| 川原圭祐  | 分散処理によるFM一括変換方式の特性シミュレーションの高速化   | 西仁司          |
| 木津悠磨  | 1次元波動方程式へのCIP法の適用                | 高久有一         |
| 楠優美子  | プログラミング初学者のためのカリキュラム作成           | 蘆田昇          |
| 小濱雄太  | マイコンを用いたフットライトシステムの開発            | 小松貴大         |
| 小林由人  | 並列ダウンロードシステムによるデータ転送の高速化         | 高久有一         |
| 酒井はすみ | 最適速度モデルにおける渋滞発生車両数依存性            | 野村保之         |
| 佐飛辰弥  | 太陽光発電による非常階段フットライト用電源の製作         | 川上由紀<br>前川公男 |
| 武永恒一郎 | ゲーム攻略型プログラミング入門教材「Labygram」の試作   | 蘆田昇          |
| 田中健太郎 | Web APIを用いた就職活動のための企業情報収集システムの構築 | 斉藤徹          |
| 玉木義孝  | 磁界共鳴による無線電力伝送の実現                 | 川上由紀         |
| 土田悠理  | 磁界共鳴方式における無線電力伝送の伝送距離向上に関する研究    | 川上由紀         |
| 寺岡智己  | シリカガラスの失透における雰囲気ガスの影響            | 青山義弘<br>堀井直宏 |
| 徳井祐輔  | 食育支援アプリケーションの開発                  | 村田知也         |
| 尚永優美香 | プライベート電波時計塔の製作                   | 高久有一         |
| 中西朋也  | 自律型倒立振り子ロボットの走行制御プログラム開発         | 青山義弘         |
| 森山裕也  | 四足歩行ロボットの歩容生成の多様化と評価             | 西仁司          |
| 山口純一  | 自律型倒立振り子ロボットの走行制御プログラム開発         | 青山義弘         |
| 山腰貴大  | プログラミング概念の学習教材「Icogram」の開発       | 蘆田昇          |
| 山腰優貴  | 速度弱摩擦構成則におけるバネ-ブロック地震モデルのパラメータ応答 | 野村保之         |
| 山田直正  | テキストデータを用いた類似卒業研究論文検索システムの構築     | 斉藤徹          |
| 吉田光喜  | 自律型倒立振り子ロボットの走行制御プログラム開発         | 青山義弘         |
| 渡邊謙太郎 | 画像処理を用いた河川の水位監視システム              | 斉藤徹          |

物質工学科

| 氏名                  | 卒研テーマ                                    | 指導教員         |
|---------------------|--|--------------|
| 赤井俊哉                | 磁性流体作製実験の簡略化                             | 津田良弘         |
| 池田萌子                | 生物学実験におけるカルス実験の最適化                       | 上島晃智<br>高山勝己 |
| 石田大祐                | 環境水中の放射性セシウムの濃縮分離および簡易測定法の開発             | 小泉貞之<br>後反克典 |
| 市橋梨奈                | 4,4'-ジプロモビフェニル分解菌の特性解析                   | 高山勝己         |
| 井上莉奈                | TG-DTA、TOC計を用いる学生実験書作成と応用                | 小泉貞之<br>後反克典 |
| 岩越亮汰                | DNAの熱変性に対する分子動力学的解析                      | 佐々和洋         |
| 大久保光洋               | 乳化重合反応に及ぼす難水溶性モノマーの物質移動の影響               | 加藤敏          |
| 川島尚大                | イオン液体を用いる未利用バイオマスの前処理                    | 高山勝己         |
| 北代彩椰                | 外部配位サイトを有するフタロシアニン合成と金属配位特性              | 松井栄樹         |
| 後藤育                 | 木材チップの糖化に対する高圧処理の効果                      | 高山勝己         |
| 小南諒治                | 乳化重合反応に及ぼす難水溶性モノマーの物質移動の影響               | 加藤敏          |
| 齋藤諒平                | 磁性流体作製実験の簡略化                             | 津田良弘         |
| 坂川緋梨                | Bacillus sp. KOSEN株のリゾイド形成メカニズムの解明       | 川村敏之         |
| 榊間夏生                | バクテリアを用いたカロテンからの生理活性物質の合成                | 川村敏之         |
| 白崎奨也                | 環境水中の放射性セシウムの濃縮分離および簡易測定法の開発             | 小泉貞之<br>後反克典 |
| 高木彩加                | TG-DTA、TOC計を用いる学生実験書作成と応用                | 小泉貞之<br>後反克典 |
| 竹内渉                 | 近接気化型CVD法による酸化チタン系薄膜の合成                  | 西野純一         |
| 竹下智都美               | TLCを用いた有機化学反応の反応追跡                       | 津田良弘         |
| 番場千沙都               | Bacillus sp. KOSEN株の他菌との共生および土壌中での栄養獲得戦略 | 川村敏之         |
| 藤井将弘                | 微生物バイオ燃料電池におけるアノードの構築                    | 高山勝己         |
| 前澤梨花                | 低温プロテアーゼ生産菌ライブラリーの構築                     | 川村敏之         |
| 前田幹太                | 外部配位サイトを有するフタロシアニンの蛍光特性評価                | 松井栄樹         |
| 牧野将之                | 生物学実験におけるカルス実験の最適化                       | 上島晃智<br>高山勝己 |
| 松浦和也                | ニトロレダクターゼ表面発現酵母の特性解析                     | 高山勝己         |
| 松浦さゆり               | 近接気化型CVD法による酸化チタン系薄膜の合成                  | 西野純一         |
| 松田光司                | 植物種子発芽における電界効果について                       | 上島晃智<br>高山勝己 |
| 水上綾乃                | 生物学実験におけるカルス実験の最適化                       | 上島晃智<br>高山勝己 |
| 村田和樹                | 磁性流体作製実験の簡略化                             | 津田良弘         |
| 森瑞貴                 | DNAの熱変性に対する分子動力学的解析                      | 佐々和洋         |
| 山本真也                | ウェットプロセスによるシリコンインターポーザ形成技術に関する基礎研究       | 常光幸美         |
| 山脇公輔                | 画像処理によるミジンコの挙動解析                         | 平井恵子         |
| 吉田竜二                | 水溶性バイオマスを骨格とする高分子形成法の開発                  | 松井栄樹         |
| 渡邊悠                 | 物理化学実験支援システムの構築                          | 平井恵子         |
| 鰐淵一生                | 乳化重合反応に及ぼす難水溶性モノマーの物質移動の影響               | 加藤敏          |
| SUGIR DANZANVAANJIL | ウェットプロセスによるシリコンインターポーザ形成技術に関する基礎研究       | 常光幸美         |

環境都市工学科

| 氏名    | 卒研テーマ   | 指導教員 |
|-------|---|------|
| 家倉 楓  | 持続可能な交流生活圏（環境都市）の目標像                                  | 武井幸久 |
| 五十島康平 | 既設の戸建住宅を対象とした丸太を用いた液状化対策技術に関する研究                      | 吉田雅穂 |
| 大塚美槻  | 越前市が所有する文化財の地震災害危険度の調査                                | 吉田雅穂 |
| 小椋梨加  | 未来町家のまち   | 江本晃美 |
| 小田桐翔子 | SABAE DROP  | 江本晃美 |
| 加藤彰彦  | 屋外スケールモデルにおける熱交換塗料の性能検証                               | 香月壮亮 |
| 木下和貴  | 河川水辺の国勢調査データに基づく底生無脊椎動物を用いた水質判定法の適用に関する研究             | 奥村充司 |
| 木村圭吾  | 松ヶ鼻頭首工の魚道改修に関する研究                                     | 奥村充司 |
| 佐々木憲史 | 交流構造の変化と公共交通機関の整備について                                 | 武井幸久 |
| 佐々木健太 | 黄鉄鉱含有土の物理・化学的性質とスレーキング特性                              | 山田幹雄 |
| 澤田直也  | UAVを用いた斜面崩壊箇所のDSM生成                                   | 辻野和彦 |
| 梶本陽介  | Kanakoによる平成21年7月に防府市で発生した土石流の解析                       | 辻子裕二 |
| 田中貴大  | 松ヶ鼻頭首工の魚道改修に関する研究                                     | 奥村充司 |
| 田邊祐真  | 三里浜海岸における高須川の河口変動と河口周辺の汀線変化について                       | 田安正茂 |
| 谷口優紀  | 黄鉄鉱含有土の物理・化学的性質とスレーキング特性                              | 山田幹雄 |
| 田畑 昇  | Sabae Therapital<br>～抗ストレスに取り組む医療施設～                  | 江本晃美 |
| 玉木吉成  | 持続可能な循環型交流生活圏の手続き                                     | 武井幸久 |
| 玉木 崇  | 三里浜海岸における高須川の河口変動と河口周辺の汀線変化について                       | 田安正茂 |
| 玉村航也  | 北陸地方における複合地震災害のデータベース化とウェブページによる公開                    | 吉田雅穂 |
| 田谷修人  | パッシブリモートセンシングによる土構造物の破壊状況の評価                          | 辻子裕二 |
| 寺尾静佳  | 市民の防災マップづくりに資する地理空間情報の整備                              | 辻野和彦 |
| 奈良本伽莉 | 既設の戸建住宅を対象とした角材を用いた液状化対策技術に関する研究                      | 吉田雅穂 |
| 乗川文尚  | 日野川における洪水による砂州の変化と砂礫移動について                            | 田安正茂 |
| 菱刈英司  | 屋外スケールモデルにおける熱交換塗料の性能検証                               | 香月壮亮 |
| 藤沢紗月  | ふくいのおいしい水認定事業の意義と課題に関する研究                             | 奥村充司 |
| 藤田智人  | 地域住民の河川事業に対する意識調査に関する研究                               | 奥村充司 |
| 牧野将太郎 | VBAを利用したE積分プログラム                                      | 阿部孝弘 |
| 松本勇太  | 単純街区における換気性状に関する研究（その1）<br>—大気安定度が流れ場に与える影響に関するCFD解析— | 香月壮亮 |
| 見寺勇人  | ウェブカメラを用いた地すべり検知システムの開発                               | 辻野和彦 |
| 袁輪圭祐  | 全国高専デザイン構造デザイン部門に対応する骨組構造解析に関する研究                     | 阿部孝弘 |
| 宮下祐太  | 福井県における橋梁の維持管理を目的としたデータベースの構築                         | 辻野和彦 |
| 村井祐太  | VBAを利用したE積分プログラム                                      | 阿部孝弘 |
| 村上翔太  | パッシブリモートセンシングによる土の締固め度評価                              | 辻子裕二 |
| 村中健彦  | 黄鉄鉱含有土の物理・化学的性質とスレーキング特性                              | 山田幹雄 |
| 山崎夏菜  | 防災意識の向上に資する親しみやすいアイテムの開発と普及                           | 辻子裕二 |

平成25年度 専攻科  
特別研究テーマ・指導教員一覧

生産システム工学専攻

| 氏名   | 特研テーマ                                     | 指導教員  |
|------|---|-------|
| 青山直史 | 早期プログラミング学習のための支援アプリケーションの製作              | 村田知也  |
| 川上亮太 | 稲作における自律除草ロボットの運用システムの検討                  | 亀山健太郎 |
| 齋藤紘夢 | しごき式曲げ試験による純チタンの焼付き過程評価                   | 村中貴幸  |
| 柴田晃平 | RFスパッタ法によるCuInS <sub>2</sub> /ZnOヘテロ構造の試作 | 山本幸男  |
| 関 勇人 | SPH粒子法を取り入れた銀河系の回転運動のシミュレーション             | 下條雅史  |
| 永井雅浩 | 端部円形空隙をもつ高温超伝導コイルの最適化と性能向上解析              | 石栗慎一  |
| 中野 匠 | 災害時の情報収集をサポートするシステムの構築                    | 大久保 茂 |
| 林 晃平 | 遺伝的アルゴリズムを用いた顔画像検出                        | 丸山晃生  |
| 早水哲平 | 仮燃加工系における糸形状撮影装置の開発および糸形状の評価方法            | 金田直人  |
| 伏里直樹 | MWNT分散PMMA薄膜を用いた脳波電極                      | 川本 昂  |
| 前川拓也 | レベル制御と繰り返し法を用いたリニアアレーアンテナの指向性制御           | 大久保 茂 |
| 向瀬貴樹 | 多層カーボンナノチューブ分散膜を用いた水素ガスセンサ                | 川本 昂  |
| 由比大介 | 熱現象理解のための分子動力学法による実験方法の開発                 | 芳賀正和  |
| 鷲田善幸 | 合金工具鋼窒化層表面に加工されたフェムト秒レーザー誘起ナノ構造の評価        | 安丸尚樹  |

環境システム工学専攻

| 氏名    | 特研テーマ                                      | 指導教員 |
|-------|--|------|
| 井上進介  | 乳化共重合反応に及ぼす難水溶性モノマーの物質移動の影響                | 加藤 敏 |
| 上野卓也  | 高須川河口の変動特性と河口周辺の汀線変化について                   | 田安正茂 |
| 小田村真志 | フッ素不溶化処理済石膏ボード粉と安定材とを混合した粘土の支持力および強度特性     | 山田幹雄 |
| 紘田麻未  | 福井県内の景観計画の策定状況とその運用に関する研究                  | 江本晃美 |
| 河原沙紀  | 海洋バイオマス資源の有効利用に向けた海洋微生物のスクリーニング            | 高山勝己 |
| 小山友希  | ウェットプロセスによるシリコンインターポーザ形成技術に関する基礎研究         | 常光幸美 |
| 田中 優  | 環境都市の地球モデル：持続可能な定着構造（土地利用、バイオマス、ワークシェアリング） | 武井幸久 |
| 町井陽太  | 鯖江市における都市公園の実態把握と整備検討に向けた研究                | 江本晃美 |
| 村田拓海  | 丸太を用いた戸建住宅の液状化対策工法の開発に関する研究                | 吉田雅穂 |
| 渡邊綾野  | マイクロバブルを利用した浄化法に関する研究                      | 小泉貞之 |

## 退職にあたって



## 定年を迎えて

一般科目教室  
(自然科学系) 朝倉 相一

一般科目教室の朝倉です。今年度で定年を迎えます。教職員の皆さんと多くの学生達には本当にお世話になりました。思い起こせば恥ずかしきことの連続でしたが、定年まで勤めさせて頂きまして有難う御座いました。学生達からは若さと情熱を、そしてやさしさと感動を沢山頂きました。

ここだけの話ですが、私は26年前に福井高専に赴任して来て驚いたことがありました。それは授業において「遅刻」の規則が無いことでした。学生が授業に5分遅れて来ても50分遅れて来ても同じではないのに、当時の名だたる先生に訊いても、それは各自の判断でというだけで、相手にしていただけませんでした。なんという「おおらか」な学校なのか、なんとも「だらしない」学校なのかと心で思いました。この点は来年度から解消されると聞いて、やっと通常の学校になったと安堵し、そしてその年月を感じます。

既に退職された先輩諸先生初め現役の皆様には本当にお世話になりました。すばらしい学校ですから、これからも皆さんが充実した学生生活と教員生活ができますようにお祈り致します。



## 定年退職を迎える

一般科目教室  
(人文社会科学系) 小寺 光雄

本校に着任したのは平成5年。それまでの15年間は、県下の高等学校で教鞭をとっていた。高等学校を離れる時は40歳代の一番働き盛りの中堅教師であり、先輩同僚からは惜しまれたり恨まれたり、本当に申し訳ないという気持ちであった。それだけに福井高専では、教育と研究に一層励まなければならないという決意で新しい境遇に入った。

福井高専に赴任した当初は、高等学校に残っていた方が良かったかなと後悔することもあったが、福井高専には高等教育機関として教育・研究環境が優れているという利点があった。まず何よりも、自分の研究時間が増えた。大学院時代に研究していた言語学の分野からは遠ざかっていたものの、英語教育の分野で研究を続けることができた。もう一つは、在外研究の機会を得て一年間近く英国のレディング大学に滞在させていただいたことである。当大学の大学院で応用言語学の勉強をする機会を与えられただけでなく、英国各地の歴史的建造物などを訪れ、英国の歴史と文化を自分の肌で直に触れる機会を得た。この経験は日本に戻ってから英語教育の現場で十二分に生かすことができた。最後に、全国高等専門学校英語教育学会の会長に推挙され、その任を4年間にわたって全うできたことである。全国の高専で英語教育に携わる教員と共に研究活動ができたことは得難い経験であった。しかし、これらはもちろん、福井高専の教職員の皆様をはじめ、特に英語科教員の方々のご協力と励ましを得られたからこそできたことであることは言うまでもなく、心からお礼を申し上げたい。

さて、いよいよ定年退職を迎えることになったわけであるが、これで終わりだという意識は全くない。「卒業」を英語で“commencement”ということがある。「(新しい人生の) 開始」という意味である。「退職」も同じように、セカンドライフ(あるいはサードライフ)に新たに入り、異なった生き甲斐を求め時代だと考えている。今後は、何よりも自分の健康に気を配りながら、趣味を充実させ、社会貢献にも精一杯取り組みたいと考えている。

最後にお世話になった福井高専の教職員の皆様には、再度お礼を申し上げます。

## 退職にあたって



## 学生に期待するもの

電気電子工学科 川本 昂

開学以来50年の歴史の中で、40年近く学生とともに重層的に駆け抜けてきた気がします。この間高専という枠を抜け出て地域・社会との関わりを求めていきました。その結果、各方面に人間ネットワークが形成でき、人生を楽しく過ごすことができました。

着任して間もなく結成されたワンダーフォーゲル部による3000m級の北アルプス縦走、高専祭の恒例行事になった越前海岸からの深夜ウォーキング、ピーク時には参加者が300人に達しました。その後、ソーラーボートレース出場、ロボコン指導、4台のソーラーカー製作に関わりました。公道を走るソーラーカーができたとき、本校でNHKの生中継がありました。FBCのアナウンサーとソーラーカーで県内を回ったことも記憶に新しいです。スタジオで生出演したとき、采配をふるっていたのは教え子でした。一世を風靡したロック・アーティストのザ・ブルーズドックスの誕生に関わり、ライブにはいつも招待されました。ここ20年間続けてきたのが、世界の一線級研究者による学生対象の学術講演会です。スタートは現京都大学総長の松本先生で、世界有数のデザイナーなど20数名の講師に多くの刺激を与えて頂きました。

学会発表を通じてアフリカ、南米を除く世界の文化に触れることができたのは幸いでした。新しい自然現象との遭遇もあり、何度か興奮して眠れない日々が続きました。それが発明につながり、欧米で特許が成立したこともあります。その後も出願を続け、それがものづくり知的財産教育やエネルギー環境教育の基盤となり、ついには集大成が工学教育の巻頭近くへの掲載と最優秀賞受賞に至りました。リタイア技術者集団もできました。

長い間学生にできるだけ学会発表の機会を与えようと努力した結果、幾多の学生表彰に繋がりました。昨年、11月には専攻科学生2名と香港で最後の発表をしてきました。大学・院生に引けを取らぬ堂々とした発表を見て、イノベーションを牽引するに相応しい人材に育っていると確信しました。いい後継者ができてよかったです。

これまで全てを語りつくせないほどのできごとと感動を体験することができました。これも学生、教職員の皆様と家族のお陰と感謝しております。ありがとうございました。



## 謝恩の辞：謝恩の道

環境都市工学科 武井 幸久

今は昔、改修中の鯖江駅舎と再開発間近の駅前とを抜け、日野川を渡り本校へと至る道を初めて歩いた日がありました。ほどなく自転車を購入、4台を乗り継ぎ5台目で通勤する日々が、一応の終わりを告げます。時とともに、沿道の風景は大きく変わり、駅前のホテルも4回の変遷を経た後の姿、書店も右から左へ…、国道も県道へ…。一つひとつ並べたてると、きりがありません。

最初の十余年は本務三昧。実習に授業、研究。班活動ではOB会発足や全国大会、図書館の二階通路や本校の敷地面積測量も懐かしい限りです。続く十余年、請われるままに、行政や地域の仕事にも携わりました。研究の軸も心象(イメージ)と切り綴じ(クリップ)、環境都市と不二構制…工学の場に新たな概念を組み込むことに熱中。

その間お世話になった方々、時を共にして通り過ぎた学生たちの名を謝辞とともに書き連ねても同じくきりがありません。お陰様で、対立場面も乗り越え前に進んでこられました。今も部屋を訪れたり便りをくれたり、ともに働き仕事をしてくれる卒業生も少なくありません。感謝致します。

大病を経た後は、只管、謝恩の道を歩み続けてきています。この地、邦、世界への、今は亡き人(TT、NT、NY、NH、ST、AS、…)、生まれたばかり、未だ生まれていない「いのち」への謝恩の道、これにもきりはなく、続きます。

皆々様への謝恩の辞。それさえ一区切り、未だ暫く此処に居させていただきます。とはいえ今、敦賀駅舎は改修中で、間もなく完成。心の方向は反転します。今後とも何卒、宜敷お願いします。

## 退職にあたって



## まかないもの造りとロボコン

教育研究支援センター 藤 沢 秀 雄

1970年代の実習係は、旋盤・機械・仕上げ・溶接・鍛造・鋳造・木型・実験があり、一人で何役もこなすプロの集団でした。その中で技術がなく不器用な私は、真似をしながら機械操作等を習いました。特に小型歯切り盤が面白くいろいろな種類の歯車を造り、ギヤボックスや不思議な機構を試していました。(人員・技術力共に最大)

1980年代は、実習・実験・卒研・装置製作などで、機械が使えるようになりました。装置や階段登りロボット等(おもちゃ)が造れることが一人前という時代、あり合わせでものを造る「まかないもの造り」で、日々ワクワク、ハラハラ、ドキドキで楽しみながら製作していました。

1988年より高専ロボコンが始まり、1993年階段登りロボットの大会で、1チームの技術指導をするよう依頼がありました。私しかいないと思い決心しました。結果はステップダンス大賞、2~4回泣いたと、国技館応援団はみな目が真赤でした。このころよりロボットデモの依頼がだんだん増え、多い時は年間15件ほどになります。

以後20年間、ロボット部品は全てチームで自作を目標に指導しました。最初に学生に機械の指導を行うのですが、2ヶ月程で学生自身が「まかないもの造り」が可能になり、どのチームにも負けない数の部品を製作しました。夏休みは、暑い工場内のロボコンの指導で終わりました。バイクや自転車の事故で心配したこともありましたが、機械での事故は切傷やトゲですみました。

やる気に満ち溢れるロボコン研究会の学生、卒研装置製作の学生、理解ある教職員の方々に恵まれ、幸せな時を過ごさせて頂きました。



## 退職にあたって

教育研究支援センター 坪 川 茂

昭和47年に本校に技術職員として採用され42年が過ぎました。

思い返すと社会情勢ではオイルショック、バブルの崩壊などによる景気の悪化、阪神淡路大震災、東日本大震災などの災害、福井では豪雨での足羽川の決壊など多くの出来事がありました。

身の回りでも、高専の独立行政法人化、土木工学

科から環境都市工学科への改組、私達技術職員の教育研究支援センターへの組織化など、42年の月日の長さを感じます。

私は採用当時から土木工学科(現、環境都市工学科)で実験実習などの教育支援や研究支援を行ってきましたが、当時のアナログな時代から急速にデジタルの時代に様変わりし、今や鉛筆を持たない日はあってもパソコンを触らない日はありません。

また、縁あって部活動にも係わりをもち優秀な学生にも恵まれ何度も全国大会に出場することができましたし、地元福井でも全国大会を開催することができ応援していただいた方には深く感謝致します。

最後に、42年間いろいろご指導いただいた教職員の方々、有難うございました。

今後の福井高専のご発展と教育研究支援センターのご活躍をお祈り申し上げます。



## 退職にあたって

学生課課長補佐 寺 川 秀 樹

このたび、人生の節目でもある還暦を迎え、この3月末日をもって定年を迎えることになりました。私は、昭和54年3月16日、当時の庶務課人事係に事務員として配属され25歳で公務員生活をスタートしました。

勤続35年の経験業務は、庶務系を7年(金沢大学併任1年3ヶ月含む)、会計系を23年(福井大学勤務5年含む)、学生系を5年、通算35年間を福井高専・大学で過ごさせて頂きました。本当に感謝いたしております。

これまで元気で仕事をやってこられたのは、第一に家内を始め家族の支えがあつてのことだと心からありがたく思っております。

就職した当時、以下に記述した『仕事十則』を motto にやってきたつもりですが、思いの十分の一も達成できずいつまで経っても仕事の難しさを感じずにはられません。

○仕事十則

- 一、仕事は自分から「創る」べきで与えられるべきでない
- 二、仕事とは先手先手と「働き掛け」ていくことで受身でやるものでない
- 三、「大きな仕事」と取り組め 小さな仕事は己を小さくする
- 四、「難しい仕事」を狙え そしてこれを成し遂げる所に進歩がある

退職にあたって・学生の将来と進路

- 五、取り組んだら「放すな」殺されても放すな 目的完遂までは・・・
- 六、周囲を「引きずり廻せ」引きずるのと引きずられるのでは永い間に天地のひらきができる
- 七、「計画」を持って 長期の計画を持っておれば忍耐と工夫とそして正しい努力と希望が生まれる
- 八、「自信」を持って 自信がないから君の仕事には迫力も粘りもそして厚みすらない
- 九、頭は常に「全回転」八方に気を配って一分の隙もあってはならない サービスとはそのようなものだ

十、「摩擦を恐れるな」摩擦は進歩の母 積極の肥料だ でないと君は卑屈未練になる

語れば尽きない35年間で、福井高専に入学したときは国家公務員、卒業のときは独立行政法人職員となりましたが、本校教職員の皆様をはじめ、いろいろな方々のお陰と深く感謝いたしております。最後に、福井高専の益々の発展と教職員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。 合掌

『たのしみは朝おきいで、昨日まで通いし学舎の発展見る時』

平成25年度 進路内定状況報告

進路指導委員会委員長 安丸尚樹

本科生の進路は、平成21年度まではほぼ半数が進学という傾向にあった。しかし、大学等に比べ、高専の就職が不況下でも好調なため徐々に就職希望者が増え、昨年度は62%に増加した。今年度は少し減少し57%となったが、進路調査では、全学年で就職希望の割合が多く、この傾向は今後も継続すると考えられる。

ていることも関係している。しかし、今年度も優秀な学生のみ採用という企業が多く、求人倍率の増加が必ずしも就職状況の改善に結びついていない。特に自己PRの内容が乏しく、コミュニケーション力が弱い学生が苦戦している。

さて今年度の本校の就職状況は、アベノミクス効果が徐々に始まり、求人数が全体で2～3割、特に県内で6割程度増加した。求人倍率は、本科で約25倍、専攻科で約43倍となり、大学より早くリーマンショック前の水準に近づいた。県内求人回復により、県内への就職が、昨年度の35%から39%に増加した。なお、求人増加の背景には、団塊世代の退職者増に対応して企業が技術力の継承を行うため、実践的な技術者教育を受けた高専生が期待され

進学に関しては、大学編入学は例年並で両技術科学大学、福井大学、金沢大学が多く、昨年度減少した専攻科進学者は増加に転じた。

本校は、合同企業説明会や携帯等で検索可能な本校専用求人サイトなど、他高専に先駆けたキャリア教育を推進している。しかし、自己PRの内容に困らないよう、キャリア形成を意識して低学年から行動することが一番の対策と考えられる。

最後に学生の進路指導にご尽力された関係教職員のみなさまに、厚く御礼申し上げます。

平成25年度 進路内定状況

平成26年3月7日現在

| 学科          | 区分                  | 卒業・修了<br>予定者数 | 進学<br>希望者数 | 内定者数   |        |      | 未定<br>者数 | 就 職<br>希望者数 | 内 定 者 数 |         | 未定<br>者数 | その他   |
|-------------|---------------------|---------------|------------|--------|--------|------|----------|-------------|---------|---------|----------|-------|
|             |                     |               |            | 大学・大学院 | 専攻科    | 専門学校 |          |             | 県 内     | 県 外     |          |       |
| 本<br>科      | 機 械 工 学 科           | 35            | 16         | 7      | 8      | 1    | 0        | 19          | 4       | 15      | 0        | 0     |
|             | 電 気 電 子 工 学 科       | 41 (3)        | 14         | 7      | 5      | 2    | 0        | 26 (3)      | 10 (2)  | 16 (1)  | 0        | 1     |
|             | 電 子 情 報 工 学 科       | 30 (4)        | 14 (1)     | 13 (1) | 1      | 0    | 0        | 15 (3)      | 4       | 11 (3)  | 0        | 1     |
|             | 物 質 工 学 科           | 35 (12)       | 18 (6)     | 12 (3) | 6 (3)  | 0    | 0        | 16 (6)      | 9 (2)   | 7 (4)   | 0        | 1     |
|             | 環 境 都 市 工 学 科       | 35 (9)        | 12 (2)     | 4 (2)  | 8      | 0    | 0        | 22 (7)      | 12 (4)  | 10 (3)  | 0        | 1     |
|             | 小 計                 | 176 (28)      | 74 (9)     | 43 (6) | 28 (3) | 3    | 0        | 98 (19)     | 39 (8)  | 59 (11) | 0        | 4     |
| 専<br>攻<br>科 | 生 産 シ ス テ ム 工 学 専 攻 | 13            | 2          | 2      |        | 0    | 0        | 11          | 3       | 8       | 0        | 0     |
|             | 環 境 シ ス テ ム 工 学 専 攻 | 10 (5)        | 2          | 2      |        | 0    | 0        | 7 (4)       | 4 (3)   | 3 (1)   | 0        | 1 (1) |
|             | 小 計                 | 23 (5)        | 4          | 4      |        | 0    | 0        | 18 (4)      | 7 (3)   | 11 (1)  | 0        | 1 (1) |
|             | 合 計                 | 199 (33)      | 78 (9)     | 47 (6) | 28 (3) | 3    | 0        | 116 (23)    | 46 (11) | 70 (12) | 0        | 5 (1) |

※表中の( )は女子数で内数 ※大学・大学院には短期大学も含む

学生の将来と進路・活躍する仲間

平成25年度 大学編入学試験・高専専攻科入学試験合格状況

平成26年1月25日現在

| 大学等      | 学部等        | 機械工学科 |    | 電気電子工学科 |    | 電子情報工学科 |       | 物質工学科 |       | 環境都市工学科 |      | 合計    |       |
|----------|------------|-------|----|---------|----|---------|-------|-------|-------|---------|------|-------|-------|
|          |            | 推薦    | 学力 | 推薦      | 学力 | 推薦      | 学力    | 推薦    | 学力    | 推薦      | 学力   | 推薦    | 学力    |
| 帯広畜産大学   | 畜産学部       |       |    |         |    |         |       |       | 1(1)  |         |      |       | 1(1)  |
| 北海道大学    | 理学部        |       |    |         |    | 1       |       |       |       |         |      |       | 1     |
| 室蘭工業大学   | 応用理化学系学科   |       |    |         |    |         |       |       | 1     |         |      |       | 1     |
| 山梨大学     | 工学部        |       |    |         |    | 2       |       |       |       |         |      |       | 2     |
| 長岡技術科学大学 | 工学部        |       | 2  | 1       | 5  | 1(1)    | 1(1)  | 4     | 1     |         |      | 3(1)  | 12(1) |
| 東京農工大学   | 工学部        | 1     |    |         |    | 2       |       |       |       |         |      |       | 3     |
| 金沢大学     | 理工学域       |       |    |         | 2  | 3       | 1     |       |       |         |      | 1     | 5     |
| 福井大学     | 工学部        | 2     |    |         | 1  | 3(1)    | 1     | 3     |       |         |      | 3     | 7(1)  |
| 岐阜大学     | 工学部        |       |    |         |    |         |       |       |       | 1       |      |       | 1     |
| 名古屋大学    | 工学部        |       |    |         |    | 1       |       | 1     |       |         |      |       | 2     |
| 名古屋工業大学  | 工学部        |       |    |         |    | 2       |       |       |       |         |      |       | 2     |
| 豊橋技術科学大学 | 工学部        |       | 1  |         |    | 4       |       | 1     | 1(1)  |         |      | 1(1)  | 6     |
| 京都工芸繊維大学 | 工芸科学部      |       |    |         | 1  | 1       |       |       |       |         |      |       | 2     |
| 大阪大学     | 工学部        |       |    |         |    |         |       | 1     |       |         |      |       | 1     |
| 奈良女子大学   | 理学部        |       |    |         |    |         |       | 1(1)  |       |         |      |       | 1(1)  |
| 岡山大学     | 工学部        |       |    |         |    | 1       |       |       |       |         |      |       | 1     |
| 九州大学     | 理学部        |       |    |         |    | 1       |       |       |       |         |      |       | 1     |
| 福井高専専攻科  | 生産システム工学専攻 | 8     |    | 2       | 4  | 1       | 1(1)  |       |       |         |      | 11    | 5(1)  |
|          | 環境システム工学専攻 |       |    |         |    |         |       | 6(3)  |       | 6       | 2    | 12(3) | 2     |
| 仁愛大学     | 人間学部       |       |    |         |    |         |       |       |       | 1(1)    |      |       | 1(1)  |
| 合計       |            | 11    | 3  | 3       | 13 | 3       | 21(3) | 10(5) | 12(1) | 9(1)    | 3(1) | 36(6) | 52(5) |

※表における合格者数は延べ人数を表す。( )は女子で内数。

平成25年度 大学院入学試験合格状況

平成26年1月25日現在

| 大学院                  | 専攻 |    | 環境システム工学専攻 |    | 合計 |    |
|----------------------|----|----|------------|----|----|----|
|                      | 推薦 | 学力 | 推薦         | 学力 | 推薦 | 学力 |
| 金沢大学大学院自然科学研究科       | 1  |    |            | 1  | 1  | 1  |
| 福井大学大学院工学研究科         |    |    | 1          |    | 1  |    |
| 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 |    | 1  |            |    |    | 1  |
| 合計                   | 1  | 1  | 1          | 1  | 2  | 2  |

※表における合格者数は延べ人数を表す。( )は女子で内数。

ふくいソフトウェアコンペティション2013

シューティングゲーム「蜂鷲」開発記録

3EI 廣島 健亮

事の発端は昨年の6月頃、実験でProcessingやるよ、簡単にプログラム書けるよ、というものでした。暇潰しに簡単なシューティングゲームでも作りたいなーと思って、●▲■の図形だけのものを作成。

なかなかできが良かったので課題として提出すると、青山先生からソフトウェアコンペのお誘いをいただきました。

基本的なシステムは出来てるので、図形を画像に

## 活躍する仲間

差換えたら余裕だろ、という考えが悲劇の始まりでした。まず、ProcessingはCっぽく書けるのですが、Javaベースの言語なので、当時Javaを知らずに書きまくっていると意味不明なエラーが大量発生。そこで、参考書を購入して一週間程で再度チャレンジするとJavaのくせにメモリリーク……。地獄でした。

それから猛スピードで開発が進み、締切り前日によく完成。苦勞しました。

実をいうと本当に苦勞したのは画像と音楽でした。自機や弾、背景ドット絵のフリー素材は無かったので自作。メモリリークなんかよりもこっちの方がよほど地獄でした。(笑)

しかし、そんな苦勞とは裏腹に、結果は佳作と大爆死。でもいい経験になったからいいんだーと思っています。

(ちなみに、ソースコードは10000行と1行あたり1円。コメント文をあと90000行書けばよかったですと心から思った。)



## 歯みがきロボットコンテスト

## 歯みがきロボコン・リモコン部門優勝

電子情報工学科 斉藤 徹

9月22日に、福井県歯科医師会主催による第7回歯みがきロボットコンテストが開催されました。本校は運営にも協力するなか、自律部門に4年電子情報工学科の金巻くんが参加しました。ルールは、大仏模型の歯についての虫歯にみだてた磁石を取り除いたあと、薬にみだてたピンポン球を穴に入れてポイントを競います。参加学生は夏休み中に、小型の組み込み用コンピュータによる車体のプログラムを組んで大会に望みました。

例年大会では様々なトラブルで思うように動かないのですが、今年は歯をみがくためのモータへの電流で、コンピュータへの電力不足が発生し、動きが不安定になってしまい、勝ち残ることができませんでした。

一方で、高専入学前から歯みがきロボコンに参加していた、1年機械工学科の松波くんがリモコン部門で優勝を勝ち取ってくれました。私としては、歯みがきロボコンが高専進学につながってくれたという点で、運営協力に携わってきた成果でもあり、嬉しく思えた瞬間でした。



## 福井発ビジネスプランコンテスト2013

## 『福井発ビジネスプランコンテスト』を終えて

4E1 堂 國 友 史

12月19日に行われた、『福井発ビジネスプランコンテスト』の最終選考会に私は参加しました。このコンテストは名前の通り、自身が考え提案するビジネスプランをプレゼンテーション方式で発表するものです。

私が提案したプランは『ブレインアドベンチャー』という、子どもたちをメインターゲットに体と頭を使いながら楽しく遊ぶ、電子機器を用いた新感覚のアドベンチャーゲーム、というものでした。このプランの実現のために、私はクラスメイトや福井のご当地ヒーローのゴーイクザープロジェクトの代表者、ご当地アイドルのアミーガスの責任者の方々などとコンタクトをとり、たくさんの協力を得ることができました。そして、当日はグランプリをとってやるぞという強い意気込みのもと挑みました。しかし、賞をとることはできず悔しい思いをしました。

今回、このコンテストでは本当に多くの人に支えられました。当日、私のために応援にきてくださったクラスメイトのみんな、ゴーイクザーさん、そして村田先生。本当にありがとうございました。この場を借りてお礼を申し上げます。私は来年またリベンジして、次こそグランプリをとります。



活躍する仲間

平成25年度 優秀学生賞



独立行政法人  
国立高等専門学校機構  
理事長表彰  
生産システム工学専攻2年  
向 瀬 貴 樹



日本機械学会  
畠山賞  
機械工学科5年  
山 本 洵



公益社団法人  
計測自動制御学会北陸支部  
優秀学生賞  
機械工学科5年  
米 村 建 哉



電気学会北陸支部  
優秀学生賞  
電気電子工学科5年  
前 田 剛



公益社団法人  
日本電気技術者協会北陸支部  
優良卒業生  
電気電子工学科5年  
宮 下 ゆ な



社団法人映像情報メディア学会  
北陸支部  
優秀学生賞  
電気電子工学科5年  
宮 川 敬



電子情報通信学会北陸支部  
優秀学生賞  
電子情報工学科5年  
大 村 匠



情報処理学会北陸支部  
優秀学生賞  
電子情報工学科5年  
石 田 雄 登



教育システム情報学会  
学生研究発表会  
優秀発表賞  
電子情報工学科5年  
山 腰 貴 大



日本化学会近畿支部  
優秀学生賞  
物質工学科5年  
井 上 莉 奈



日本化学会近畿支部  
優秀学生賞  
物質工学科5年  
坂 川 緋 梨



福井高専工業化学科・  
物質工学科同窓会  
悠志会賞  
物質工学科5年  
松 浦 和 也



全国高専土木工学会  
近藤賞  
環境都市工学科5年  
蓑 輪 圭 祐



福井高専土木工学科・  
環境都市工学科同窓会  
翔土会賞  
環境都市工学科5年  
藤 田 智 人



土木学会  
土木教育賞（優秀賞）  
環境都市工学科5年  
佐 々 木 憲 史

## 平成25年度 資格取得者一覧 (速報・判明分のみ)

本 科 生

| 資格名  | 氏名    | 学年学科 | 氏名    | 学年学科 | 氏名    | 学年学科 | 氏名    | 学年学科 |
|--|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| 基本情報技術者試験                                    | 池川 航史 | 4E1  | 田中 涼  | 3E1  | 千葉 大輝 | 3E1  | 畠中 達也 | 3E1  |
| 工業英検3級                                       | 岩堀 仁紀 | 3E1  | 千葉 大輝 | 3E1  | 中内 文也 | 3E1  | 畠中 達也 | 3E1  |
|  | 藤田清司郎 | 3E1  |       |      |       |      |       |      |
| 数学検定2級                                       | 竹内 裕人 | 3M   |       |      |       |      |       |      |
| 危険物取扱者(甲種全類)資格試験                             | 白崎 奨也 | 5C   | 吉田辰太郎 | 2C   |       |      |       |      |
| 危険物取扱者(乙種全類)資格試験                             | 川淵 華綸 | 4C   | 谷川 和樹 | 4C   | 古村 一敬 | 4C   | 北嶋 彩乃 | 3C   |
|  | 中山 和也 | 3C   | 浅田 浩利 | 2C   | 江口 航平 | 2C   | 柴原 寛太 | 2C   |
|  | 田中 美和 | 2C   |       |      |       |      |       |      |
| 危険物取扱者(乙種第1類)資格試験                            | 高尾 大樹 | 4E   |       |      |       |      |       |      |
| 危険物取扱者(乙種第4類)資格試験                            | 大平 稜  | 4M   | 上塚 大輝 | 4E   | 高尾 大樹 | 4E   |       |      |
| 危険物取扱者(乙種第6類)資格試験                            | 高尾 大樹 | 4E   |       |      |       |      |       |      |
| 第三種電気主任技術者                                   | 横町 伝  | 4E   |       |      |       |      |       |      |
| 第二種電気工事士                                     | 太田 龍二 | 4E   | 山本 瑞生 | 4E   | 黒田 喬介 | 3E   | 千歩 裕和 | 3E   |
|  | 吉村 淳也 | 3E   |       |      |       |      |       |      |
| 機械設計技術者3級                                    | 片野 智仁 | 5M   | 近藤 剛志 | 5M   | 斎藤 治樹 | 4M   | 辻 明菜  | 4M   |
|  | 山下 誉裕 | 4M   |       |      |       |      |       |      |
| CAD利用技術者試験2級                                 | 勝見早斗士 | 4M   | 金子 祐樹 | 4M   | 黒田 健人 | 4M   | 酒井 航貴 | 4M   |
|  | 高橋 郁也 | 4M   | 通自 達也 | 4M   | 永野 法行 | 4M   | 並河 伶弥 | 4M   |
|  | 山下 誉裕 | 4M   | 清水雄太郎 | 3M   | 竹内 裕人 | 3M   | 高田 康平 | 3B   |
|  | 山口 恭平 | 3B   |       |      |       |      |       |      |
| 測量士補   | 岡田 拓樹 | 3B   | 島田瑛実香 | 3B   | 高田 康平 | 3B   | 高田和佳菜 | 3B   |
|  | 鳥居あすか | 3B   | 本谷 峻  | 3B   | 宮下 晟弥 | 3B   | 山口 恭平 | 3B   |
|  | 山下 茉莉 | 3B   | 山本 悠哉 | 3B   |       |      |       |      |
| コンクリート検定(上級)                                 | 朝倉ななみ | 4B   |       |      |       |      |       |      |
| コンクリート検定(中級)                                 | 大塚 美槻 | 5B   | 小椋 梨加 | 5B   | 梶本 陽介 | 5B   | 玉木 崇  | 5B   |
|  | 山崎 夏菜 | 5B   | 奥出 尚  | 4B   | 寺川 礼菜 | 4B   |       |      |
| コンクリート検定(初級)                                 | 後藤 高裕 | 4B   | 嶋田 聖  | 4B   | 五十嵐春希 | 3B   | 岩間 亮友 | 3B   |
|  | 宇佐美怜志 | 3B   | 岡田 拓樹 | 3B   | 加藤 桃子 | 3B   | 川端 祐輝 | 3B   |
|  | 島田瑛実香 | 3B   | 高田 康平 | 3B   | 高田和佳菜 | 3B   | 田中 幹  | 3B   |
|  | 塚本 湧正 | 3B   | 鳥居あすか | 3B   | 中島 真名 | 3B   | 橋本 芹菜 | 3B   |
|  | 濃川ひかり | 3B   | 福嶋 彩乃 | 3B   | 水本 翔大 | 3B   | 山内 佑太 | 3B   |
|  | 山下 茉莉 | 3B   | 山本 武  | 3B   | 吉田 莉菜 | 3B   |       |      |
| JFA公認C級コーチ<br>床上操作式クレーン運転技能講習修了<br>玉掛け技能講習修了 | 山口 拓郎 | 4E   |       |      |       |      |       |      |

## 見学旅行

## 見学旅行について

## いろいろあった見学旅行

3M 田中浩貴

この見学旅行で私たちは「三菱重工神戸造船所」様、「神戸製鋼加古川製鉄所」様「デンソー北九州製造所」様の3つの企業を見学させていただいた。どの企業様もすばらしかったのだが、ここでは書ききれないので、あえて省略してそれ以外のことを軽く紹介しようと思う。

まず、初日はお互いのスーツ姿を笑いあうところから始まった。そして、2つの企業を見学してから、その日宿泊するフェリーへと向かった。全員フェリーは初めてで、各々がわくわくしていたと思う。ただ、常に航行し、常に揺れていたのが非常に寝づらかった。

2日目は企業を見学してからロボスクエアというところに行った。そこにはたくさんロボットがあったので、僕たち機械科にはいい経験になったと思う。

3日目は私服に着替え、軍艦島に行った。ここでは当時の生活の様子が鮮明に残っており、一生に一度は見ておくものと感じた。その後に行ったハウステンボスは単純に楽しくて、いい思い出になった。

見学旅行は自分たちのためになり、なおかつ楽しいので行ってよかったと感じた。



## 見学旅行に参加して

3E 岡本克哉

見学旅行で海外へ行くとなった時は正直驚きでした。僕自身が初の海外旅行ということもあり少し緊張する点もありましたが、とても良い経験になったと思います。

1日目は奈良先端科学技術大学院大学に行きました。大学の周りには娯楽施設等がなく研究に没頭できるという点がとても印象に残りました。また教員1人1人が企業等で研究をして活躍されたと聞き、指導される側からしたら様々な知識を吸収できるので魅力的だと思いました。そして電子顕微鏡など設備が充実していて、実習で知識以外のものが学べるのではと思いました。

2日目以降は香港でした。初めての海外で、香港の学生と英語で交流なんてとても不安でした。でもVTCの先生や学生は気さくな人が多く、海外の方と交流するのがこんなに楽しいなんて思ってもいませんでした。もっと英語を勉強しておけばよかったと反省する点もあり、自分を見つめ直す良い機会だったと思います。

今回の旅行で一番心に残ったのは「日本の良さを再確認できた」ことです。香港が悪いということではありませんが、日本の接客の良さや味の良さを比べてしまうと劣るものがあつたようです。ですが香港に行ったことで海外旅行の楽しさや英語の大切さを学ぶことができました。また、このような経験をするのができたのは佐々木さんやガイドさんや先生方のおかげです。どうもありがとうございました。



## 見学旅行について

### はじめてのがいこく

3E1 篠地 大輝

高専5年間の中でも最大級のイベント、工場見学旅行。1週間という期間の中で様々な体験をしましたが、特に心に残ったのは台北での3日間です。本当に3日間だったのかと思うくらい密度の高い時間でした。

自分が漠然と抱いていた台北のイメージは、「雑駁」というものです。しかし実際には「混成」といった感じてした。

3日間のうちに私達は企業訪問、大学交流、観光などをしました。一番面白かったのは国立総合大学の学生さんとの交流でした。無論、日本語は通じないので英語で会話をしました。実際話してみると、向こうの学生さんも英語は同レベルみたいで、お互いにぎこちない会話となりました。通じなかったらどうしようみたいなところがあったので非常に安心しました。

この旅行で感じたのは、コミュニケーションはお互いが歩みよってこそ成立するということです。しかし、その前に忘れてはいけないのは、こういう機会を自分にくれた親や先生等旅行に関わったいろんな人のおかげで、学ぶことができたということです。周りで自分の生活を支えている人々への感謝の心を忘れずにいたいです。



### 大切な思い出

3C 桂田 康平

去年の11月11日から約1週間という長い期間私のクラスは、九州に修学旅行に行きました。工場見学を数か所させてもらったり、海遊館やサファリパークなどに行ったりと、充実した楽しい1週間でした。工場見学では、資生堂、シャボン玉石けん、サントリーの工場を見学させていただきました。ここでは会社の説明を聞いたり、実際の商品の製造現場を見せてもらったりとなかなかできない貴重な体験をさせていただき、今後の就職活動に大きく参考になるものでした。

工場見学以外では、漫画ミュージアムや海遊館のバックヤードツアー、太宰府天満宮、地獄めぐり、サファリパークなどさまざまなところに行きました。中でも印象に残っているのは、海遊館のバックヤードツアーです。海遊館は何回か行ったことがあったのですが、バックヤードを見るのは初めてで、大水槽を上から眺めたりと面白い体験ができました。そして大阪から九州に行くために乗ったフェリーで見た流れ星や朝日はとてもきれいで強く印象に残っています。

これ以外にもいろいろ印象に残っているものがありますが、やはり一番楽しかったのは、夜中友達としゃべり明かしたりしたこと。これは自分にとって大切な思い出となりました。

最後にこの修学旅行は友達ととても楽しい時間を過ごすことができとても有意義なものであり、それと同時に友達の大切さを改めて考えさせられた時間でもありました。この人生においても大切な思い出を忘れないようにすることと友達はこれからも大切にしていかなければいけないなと思いました。



## 見学旅行・校外研修

## 見学旅行について

## 西日本の旅

3B 小笠原 優

3Bの工場見学旅行は初日に京都、姫路、岡山を駆け抜け、2～3日目は四国、4日目に九州というNHK大河ドラマロケ地をバスで巡る慌ただしい日程でした。しかし、姫路城、瀬戸大橋や大吊橋など巨大な土木構造物、建築物を間近で見ることができ、併せてその土地の歴史・文化に直接触れるといった素晴らしい体験が出来ました。

初日の京都では町家を見学した後、昼食の際に舞妓さん（市十美さん）の舞踊を見学しました。同年代の人が芸妓になるという道を決めて頑張っていることに驚かされました。中学を卒業して5年間舞妓の修行をして芸妓さんになるという話を聞いて、自分たちも同じように5年間本科で学んでエンジニアになることと同じだと感じました。

2日目の夕食では、高知県特産の魚介類を使った土佐の皿鉢料理（さわちりょうり）を食べ、四国の風土を感じました。ここでは、鯨の肉を食べ、日本の食文化に触れることが出来ました。

3日目は日本最後の清流四万十川へ行きました。中村河川国道工事事務所の方の説明を聞き、アユの産卵場所の整備やツルの越冬地の整備など地域住民と一緒に取り組んでおられることを伺いました。四国から九州へはフェリーで渡りました。温泉につかって疲れを癒しました。

今回の研修旅行で、将来自分たちが関わっていく現場や建造物を実際に見ることができ、大変良い勉強になりました。自主研修旅行を含めた6日間、普段は行けない場所で様々なことを学ぶことが出来ました。この経験を普段の学校生活に活かしていきたいです。



## 校外研修について

## 校外研修を終えて

2C 松島 雛子

私たち2年物質工学科は村田製作所とパナソニックを訪問しました。

工場見学ではとても近い位置で機械を見ることができてよかったです。機械を使った作業だけでなく、滴定などの自分たちが今までに学校でしてきたこともしているのだと知ってとても驚きました。特に印象に残っているのはパナソニックで見た小さい部品からできている福井高専の校章です。高い技術力を目で見ることができました。会社の作業風景を見ることで自分の中であやふやだった仕事のイメージをしっかりと持つことができたと思います。

先輩とのディスカッションはとてもいい経験になったと思います。印象に残っている話はいくつかありますが、特に「自分の役に立つような思い出のしまい方を身に着ける」という話です。何も考えずに日々を過ごすのではなく、「どうしてこうなったのか」「次にどうつなげていけるか」を考えながら行動するのが大事なのだそうです。

今回の研修ではここに書ききれないくらいたくさんの方のことを学びました。この経験を活かしてこれからの高専生活をよりいいものにしていきたいです。



# 校外研修について

## 校外研修に行って

2E1 松原 慶 征

私たちは福井鋳螺とサカイオーベックス、サカイエルコムとの3つの企業に研修に行きました。どの企業も、機械のシステム管理や、制御にはコンピュータを用いていて、こういったところは、私たち電子情報工学科に深く関わりがあるなと感じました。パッと、見ただけでは、情報と関係がなさそうな企業でも、コンピュータを用いて制御などを行っているところがほとんどだと思いました。

今回の校外研修で、いくつか自分たちに足りないと感じたことがありました。まず、働くということ

には、学校生活以上に責任の重さや、自主性・積極性が必要だと改めて感じました。そして、働く中で、必ず必要になるのは、コミュニケーション能力で、プレゼンやいろいろな方との交流の機会があるときには、それを大切にしていきたいと思います。

最後に、企業の方々が実際に働いていらっしゃる場所を間近で見ることができ、自分が足りないと感じたところと、実社会の厳しさを感じると同時に今後の学校生活の中で身につけていくつもりです。



## 平成25年度 第2学年校外研修先一覧

| 学 科        | 研修日       | 研 修 先                                  | 引率者                           |
|------------|-----------|--|-------------------------------|
| 機械工学科 2年   | 11月13日(水) | 村田機械株式会社加賀工場                           | 島 田 茂<br>芳 賀 正 和              |
|            |           | 株式会社エイチアンドエフ<br>本社工場・熊坂工場              |                               |
| 電気電子工学科 2年 |           | パナソニックエレクトロニックデバイス<br>ジャパン株式会社若狭ディビジョン | 朝 倉 相 一<br>石 栗 慎 一            |
|            |           | 財団法人 若狭湾エネルギー研究センター                    |                               |
| 電子情報工学科 2年 |           | 福井鋳螺株式会社細呂木事業所                         | 山 本 裕 之<br>下 條 雅 史            |
|            |           | サカイオーベックス株式会社合織工場                      |                               |
| 物質工学科 2年   |           | 株式会社鯖江村田製作所                            | 小 寺 光 雄<br>後 反 克 典<br>常 光 幸 美 |
|            |           | パナソニック株式会社デバイス社<br>回路部品ビジネスユニット 森田     |                               |
| 環境都市工学科 2年 |           | 美浜町みずうみ保育園                             | 中 村 吉 秀<br>香 月 壮 亮            |
|            |           | 株式会社日本ピーエス 本社・工場                       |                               |

## 遠足

## 遠足について

## 楽しかった京都遠足

F3 島中航希

私たちF3クラスは京都へ遠足に行きました。F2クラスも一緒だったので、行き帰りの電車内はとてにぎやかでした。

京都駅に着いてからは解散場所である八坂神社まで30分以上かかりましたが、集団で地下鉄に乗ったり、四条大橋で虹が見えたりと移動中でも楽しかったです。

八坂神社で記念撮影をしてグループごとに解散してからは、八坂神社の境内と円山公園を散策し、昼食を食べました。円山公園には修学旅行で来ている小・中学生が多く、きれいな紅葉を前に記念撮影をしていました。昼食の後、河原町駅から阪急電車で嵐山へ。嵐山は昨年9月の台風18号により大きな被害を受けましたが、観光客が多く屋台や土産屋はとて賑わっており、また渡月橋からはきれいな紅葉とともに虹も見えました。1日に2回も虹が見れたのでとて嬉しかったです。

嵐山の町並みを散策し、お土産も買って集合場所の京都駅へ戻りました。時間内にいろんな場所を回ったので、1日がとて短く感じました。

来年からは学科ごとにバラバラになるけれど、良い思い出がまた一つできて良かったです。



## 遠足について

F4 友広望

いうならば遠足でした事といえば、ただ単に歩き続けたというべきかなにというべきか、実際は7キロ程度しか歩いていないのに、2、3時間歩いていたという曖昧な記憶しかない。

何処に行ったのかと聞かれば金沢に行きましたと言い、もっと詳しくと言われれば兼六園と21世紀美術館に行ってきましたと言い、じゃあ何故行ったのと言われたら、さあとしか言えない。今そんなこと聞かれてもその時の記憶が有るわけでもない、自分が遠足で得たものは携帯に入っている写真だけであり、その写真から想像するしか遠足を思い出すことができない。

自分の記憶力の無さは自覚しているので、多量に写真を撮っていたのが唯一の救いというべきかどうか。写真は主に木、水辺、林と兼六園の写真が多く、それだけで衝撃的だったのか20数枚程も有る。学校があるし、家の都合もあるし数えれば枚挙にいとまがないが、とりあえず県外には年に1、2回行くかどうかの少なさだったからというのも有るのだろうし、そもそも家からあまり出ない人だから遠足の時くらいは撮ろうと思ったのか。

結局お前は何が言いたかったのだと聞かれたら、こう答えるだろう。月並みですが、兼六園は美しい場所でした。と。



## 「JOINTフォーラム2013」を開催

11月28日、サンドーム福井において「JOINTフォーラム2013」を開催しました。

本フォーラムは、本校と福井県内の企業及び産学官連携関係者との結びつきを深めることを目的として、地域連携テクノセンター主催で実施しているもので、今回は福井大学や地元企業、本校の教育研究支援組織「地域連携アカデミア」会員企業、本校教職員など約80名の参加がありました。

松田校長の開会挨拶に続き、福井大学産学官連携本部長による特別講演、アカデミア会員企業2社による企業ニーズ発表、同センター部門から8名の教職員による研究シーズ発表、同センターの活動報告が行われました。

企業ニーズ発表では高専卒業生の活躍やものづくりへの貢献などを、研究シーズ発表では若手教職員が研究内容を紹介し、また会場内の展示ブースにおいて、シーズ・ニーズ発表者のほか、本校教員1名

を加えた11件のポスターセッションが行われ、自由な意見交換が行われました。

閉会にあたって、同センター長から、本フォーラムをきっかけとした交流を行い、産学官連携活動の推進に寄与したいとの挨拶があり、盛況のうちに閉会となりました。



## 第19回 マグネットコンテスト表彰式を実施

福井高専は、平成26年2月10日、武生商工会館において「第19回マグネットコンテスト」入賞者の表彰式を執り行いました。

同コンテストは、ものづくり教育の一環として、レア・アースマグネットの世界的生産拠点である信越化学工業（株）武生工場の協力を得て平成7年度から実施しているもので、第19回となる今回、アイデアを募集したところ、県内外の小中学生、高校生、高専生、大学生から総数1,844件ものアイデア作品が寄せられました。

厳正なる審査の結果、最優秀賞から佳作までの27作品が受賞し、そのうち最優秀賞「連動!!内側マグネットワイパー」、信越化学工業株式会社審査員賞「Magness Medicine」、地域連携テクノセンター長賞「ゆらピカ」、他優秀賞3作品を含めた

受賞者6名が表彰式に招かれました。

表彰式では、審査員から今回のアイデアへの講評やアドバイスなどがあり受賞者は熱心に耳を傾けていました。また、懇談会では、受賞者からアイデアに至るまでのエピソードの話をしてもらい、会場は盛り上がりました。



## クラシックコンサート

## 第5回 福井高専クラシックコンサート

企画室長 田中 嘉津彦

クリスマスにも近い去る12月4日（水）午後3時から鯖江市文化センターにおいて、「第5回福井高専クラシックコンサート」を開催しました。同コンサートは本校学生の情操教育と地域社会への文化的貢献活動の一環として開催したものです。

当日は、鯖江市出身のピアニスト 酒井麻里氏と、ヴァイオリニスト 岩崎彩乃氏をお招きし、休憩をはさんだ二部構成で「華麗なる円舞曲 op.34-1 変イ長調」「G線上のアリア」「ラ・クンパルシータ」を含む18曲に加えてアンコール曲「Time To Say Goodbye」が演奏されました。特に、酒井氏は数々の国際音楽コンクールで1位の受賞に加え、皇居桃華楽堂における御前演奏にも招待されたご経験を有しておられる実力者です。本校学生を始め教職員、地域の方々 750名の聴衆は重厚かつ繊細な一流の調べに酔いしれました。

コンサート終了後のアンケート調査では、9割以上の方から「満足」又は「非常に満足」の評価を頂くとともに、来年も同様のコンサート開催を望む声が多数寄せられました。本校学生からは「技術者教

育のみならず人間教育にも力を入れていることがわかった」や、「ヴァイオリンの生演奏を聴く機会がないので満足した」という感想の他、一般参加者からは「このような機会は素晴らしい感性を育む良い機会だ」や、「情操教育の大切さを認識されている教育方針は実に頼もしい」というような、非常に好意的なご意見を多く頂戴しました。

今さら言うまでもないことですが、本校学生はエンジニアの卵であり、その多くは近い将来、他国のエンジニア達と一緒に仕事をすることになると思います。その時には専門分野の技術力だけではなく、人間性や深い教養が必要になってくるはずですが、今回の企画は音楽を始めとする、様々な芸術や文化等と積極的に触れ合い、人間らしさと感性を磨き、幅広い教養を有する技術者に育つための一つの機会にしか過ぎません。このような機会を積極的に利用し、自ら切磋琢磨されることを切に期待します。

最後に、今回のコンサートを開催するにあたっては、学内外の多くの関係者各位のご協力とご支援を賜りました。紙面を借りて厚く御礼申し上げます。



中学校だより

「赤土の子」の精神の中央中

鯖江市中央中学校

中央中学校は今年度開校66年目を迎え、「爛漫花を粧いて 大き桜木 窓に立つ ああ心豊かに 青春我等」この校歌とともに、校訓である『赤土の子ー 正しく 強く 美しく』の精神にふさわしく2万2千人を超える卒業生が巣立っていきました。平成25年度は37学級、全校生徒数1,040名と福井県下最大の大規模校となっています。



子ー 正しく 強く 美しく』の精神にふさわしく2万2千人を超える卒業生が巣立っていきました。平成25年度は37学級、全校生徒数1,040名と福井県下最大の大規模校となっています。

昭和20年代の開校当時、全校生徒と教師が一丸となって鍬やスコップを持ち、赤土にまみれて敷地や校庭の整地にあたり、自らの手でこの学校の基礎を作り上げてきた姿から何事にもねばり強く取り組

む不屈の精神が本校の校訓の由来となっています。創立時の精神は望文会活動とよぶ生徒会活動や部活動にをはじめ、生徒たちの学校生活の指針として引き継がれています。

今年度は中体連全国大会で男子体操部が3位、女子卓球部が団体ベスト5に進出するなど、多くの部が県大会、北信越大会で活躍してくれました。また吹奏楽部が北陸大会に出場し、東京ディズニーランドでのイベント演奏を行うなど文化部やスポーツクラブの活動でも大きな成果をあげています。

中央中学校は、「赤土の子」の精神を確実に先輩から後輩に受け継がれている学校です。



平成26年度 入学者選抜について

平成26年度入学者選抜試験は、推薦入学者選抜が1月19日(日)に本校で、学力検査が2月16日(日)に本校、福井市地域交流プラザ、敦賀市商工会議所及びひこね燦ばれすで理科、英語、数学、国語、社会の5教科により実施された。

2月20日(木)午後1時に205名の合格者を本校掲示板及びホームページ上に掲載した。

合格者205名のうち、県外の合格者は23名(石川県2名、滋賀県19名、奈良県1名、兵庫県1名)であった。

平成26年度入学者選抜実施状況一覧

| 学 科           | 募集人員 | 志 願 者 数  |          |       | 合 格 者 数 |          |        | 計        |
|---------------|------|----------|----------|-------|---------|----------|--------|----------|
|               |      | 推 薦      | 学力検査     | 倍 率   | 推 薦     | 学力検査     |        |          |
|               |      |          |          |       |         | 工学基礎コース  |        |          |
| 機 械 工 学 科     | 40 人 | 35 (7)人  | 42 (4)人  | 1.93倍 | 19 (3)人 | 22 (1)人  | 8 人    | 41 (4)人  |
| 電 気 電 子 工 学 科 | 40   | 13 (1)   | 42 (2)   | 1.38  | 13 (1)  | 28 (3)   | 8 (1)  | 41 (4)   |
| 電 子 情 報 工 学 科 | 40   | 28 (7)   | 50 (2)   | 1.95  | 19 (6)  | 22       | 10     | 41 (6)   |
| 物 質 工 学 科     | 40   | 20 (11)  | 37 (10)  | 1.43  | 19 (11) | 22 (4)   | 8 (2)  | 41 (15)  |
| 環 境 都 市 工 学 科 | 40   | 33 (15)  | 41 (9)   | 1.85  | 19 (10) | 22 (9)   | 7 (2)  | 41 (19)  |
| 合 計           | 200  | 129 (41) | 212 (27) | 1.71  | 89 (31) | 116 (17) | 41 (5) | 205 (48) |

(備考)(1)( )内の数字は、女子で内数。(2)倍率=志願者(推薦+学力検査)÷募集人員

## 学園通信

平成25年度  
留学生との懇親会報告

留学生主任 加藤 清 考

昨年12月12日に、鯖江市国際交流協会の会員の皆様をお迎えし、松田校長をはじめ外国人留学生6名とそのチューター、指導教員を含む総勢38名による留学生懇談会を開催しました。

懇談会では、今年度マレーシアから政府派遣留学生として機械工学科に入学したシャフィック君と、インドネシアから国費留学生として物質工学科に入学したキダル君が、パワーポイントを使って自己紹介及び母国紹介をしてくれました。2人とも少し緊張気味でしたが、日本と違う学校制度や食べ物の話等、非常に興味深い話を紹介してくれました。皆さんも、是非2人から直接話を聞いてみてください。

先輩留学生のザインル君、チューターの石橋君も素晴らしい代表挨拶をしてくれました。

今年のアトラクションでは、留学生・チューター全員がステージに出て、参加者全員で「世界にひとつだけの花」を歌いました。また、隠しアトラクションとして、ダンザン君がけん玉を披露してくれ、会場が大いに盛り上がりました。そのプロ級の腕前をまだ見ていない人は、ダンザン君が卒業するまでに見せてもらってください。

懇談会は立食形式で、終始和やかな雰囲気が進みました。最後に、懇談会終了後、留学生とチューター全員が残って後片付けを手伝ってくれたので、スムーズに会場を復元することができました。こういう事を言われなくてもしっかりできる所が、福井高専生の良いところですね。



## ISTS2013に参加して

2PS 伏里 直 樹

私は、ISTS2013に参加しました。ISTSとは、高専機構が高専生に英語で研究成果を発表する機会を提供し、英語コミュニケーション能力の向上と国際感覚の涵養に貢献することを目的とした国際シンポジウムです。ISTS2013は香港で開催されました。ISTSに参加するにはまず研究論文を英語訳することから始まりました。私は英語が出来る方ではないので、英語訳にとっても苦労しました。ISTSで発表するまでの準備期間は約半年くらいでその間はずっと英語と闘っていました。半年経って気づけば自然に英語がでてくるまでになりました。現地でISTSの発表が終わると、あとは自由時間が2日程あったので、観光をしました。観光はツアーに参加するものもあれば、自分達で地下鉄などを利用して自由に観光するものもありました。海外の観光地を自分で探してまわることは、まるで冒険をしているかのようでした。ISTSを終えて、英語の必要性和行動をおこすことの大切さを学びました。ISTSで発表するまでは苦労することもありましたが、貴重な体験をすることができました。



## 平成25年度 福井工業高等専門学校卓越した学生の表彰 及び 校長特別賞・校長賞受賞者

平成26年1月23日（木）、平成25年度福井工業高等専門学校卓越した学生の表彰及び校長特別賞、校長賞受賞者の表彰式が行われた。

これは、本校の「学生の表彰基準」に基づき表彰されるもので、本年度から、第一体育館において全校学生の前での表彰式となり、松田校長から受賞者に賞状と記念品が手渡され集まった学生から拍手で祝福された。

### 福井工業高等専門学校卓越した学生

|     |              |       |
|-----|--------------|-------|
| 本科  | 環境都市工学科5年    | 藁輪 圭祐 |
| 専攻科 | 生産システム工学専攻2年 | 向瀬 貴樹 |

### 校長特別賞

|                        |       |      |           |
|------------------------|-------|------|-----------|
| ●第48回全国高等専門学校体育大会（優勝）  |       |      |           |
| ◎卓球部(女子シングルス)          | 鈴木 優  | (F4) |           |
| ●第48回全国高等専門学校体育大会（準優勝） |       |      |           |
| ◎卓球部(女子ダブルス)           | 藤田 瑞姫 | (2B) | 鈴木 優 (F4) |

### 校長賞

|  |       |      |            |
|--|-------|------|------------|
| ●第48回北陸地区高等専門学校体育大会（優勝）                                      |       |      |            |
| ◎陸上(男子5000m)   | 久島 惇  | (4C) |            |
| ◎卓球部<br>(女子団体戦)  | 田中 詩織 | (4C) | 朝倉ななみ (4B) |
|  | 南嶋 由枝 | (3C) | 高田和佳菜 (3B) |
|  | 五十嵐春希 | (3B) | 北川真由子 (2M) |
|  | 藤田 瑞姫 | (2B) | 山貴 緋称 (F3) |
|  | 鈴木 優  | (F4) |            |
| ◎卓球部(女子シングルス)  | 鈴木 優  | (F4) |            |
| ◎卓球部(女子ダブルス)   | 藤田 瑞姫 | (2B) | 鈴木 優 (F4)  |
| ◎剣道部(女子個人戦)  | 早瀬 夏貴 | (F4) |            |
| ◎水泳(女子100m自由形)   | 八田 朱里 | (F5) |            |
| ●第33回福井県高等学校秋季囲碁大会A級優勝並びに<br>第37回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会福井県大会A級優勝 |       |      |            |
| ◎囲碁・将棋部  | 三村 優太 | (2B) |            |
| ●第33回近畿高等学校総合文化祭三重大会将棋部門B級準優勝                                |       |      |            |
| ◎囲碁・将棋部  | 中山 玲司 | (2C) |            |
| ●第2回小水力発電アイデアコンテスト金賞並びに地域貢献受賞                                |       |      |            |
| ◎THE研究会  | 奥田 康隆 | (5E) | 田中憲太郎 (5E) |
|  | 畑矢 弦輝 | (5E) | 前田 剛 (5E)  |
|  | 宮川 敬  | (5E) | 濱内 崇行 (4M) |
|  | 小川 翔悟 | (4E) | 市橋 勇志 (4E) |
|  | 橋本 涼  | (4B) |            |

## 平成26年度教育後援会総会

次のとおり総会を開催しますので保護者の方はご出席下さい。

期日 平成26年4月4日（金） 正午から

場所 本校 第一体育館

会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 校長あいさつ
4. 報告事項  
学校状況について

### 5. 審議事項

- ①平成25年度事業報告案及び決算案について
- ②平成26年度役員選出について
- ③平成26年度事業計画案及び予算案について
- ④その他

### 6. 閉会

# 高専生活の一コマ



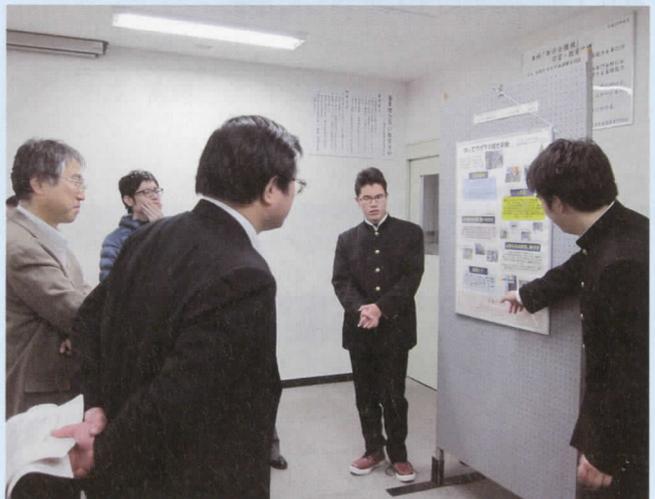
校長表彰①



校長表彰②



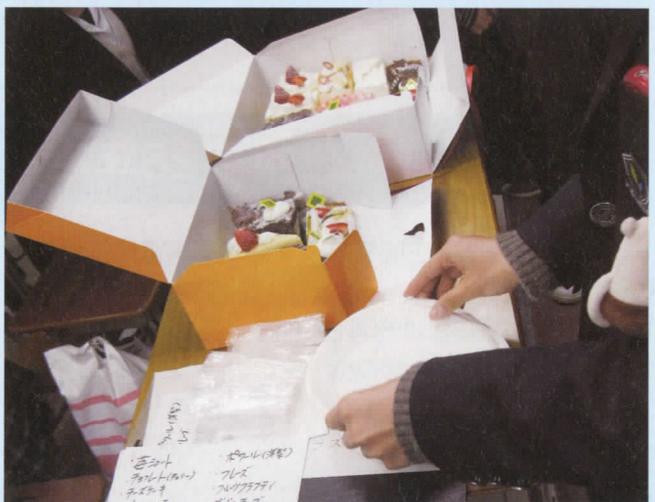
校長講話



キャンパスプロジェクト発表会



大感謝祭①



大感謝祭②